

市民協働事業評価シート

事業名	No.1 防火・防災事業		
市 担当課	地域安全課	パートナー	沼田市八職工防火協力会

市の評価

事業の目的	歳末特別警戒・出初式・災害時の消防機関への協力		
事業計画時の目標	歳末特別警戒の実施及び消防団出初式への参加	目標の達成度	5
達成できなかった理由	-		
採用した協働手法	補助・助成	目的達成に対して適切な手法だったか	5
この手法を選んだ理由	市民総消防の理念に基づき、職人で組織された団体であり、そのノウハウによる事業実施が期待できるため。	今回採用した手法よりも有効なもの	現在の手法が最も有効
協働相手(パートナー)の選定は適切だったか	4	市とパートナーの間で、情報交換や意思疎通は円滑に行われたか	5
意思疎通における工夫や課題	委員長と適宜連絡及び役員会議の開催		

市の役割	事務局(資料等の作成)	パートナーの役割	企画・運営
市の役割の達成度	5	パートナーの役割の達成度	5
達成できなかった理由や改善点	-		
役割分担は適切だったか	5	市民と協働したことで、市単独で行った場合と比較してよりよい成果は得られたか	5

パートナーが持つ特性(知識・経験・ネットワークなど)は十分に活かされていたか	5	事業の実施を通じて得られた成果	歳末特別警戒 会員13人参加
事業全体に対して十分な費用対効果は得られたか	4	費用対効果についての補足	-
協働の視点から特に工夫した点	-	次年度以降の改善点や提案	-
その他	-		

パートナーの評価

事業全体に対する満足度	4	市の対応に対する満足度	5
上記の回答について、理由や感じたこと	-		

市民協働事業評価シート

事業名	No.2 沼田市地区交通安全会連合会活動事業		
市 担当課	地域安全課	パートナー	沼田市地区交通安全会連合会

市の評価

事業の目的			
交通安全運動の推進・普及徹底及び交通指導			
事業計画時の目標			
年に一度、総会の開催。各地区交通安全会との連絡調整及び統一的な交通安全事業の実施。交通道徳の高揚、交通安全思想の普及徹底を図る。			
目標の達成度			
5			
達成できなかった理由			
-			
採用した協働手法			
補助・助成			
目的達成に対して適切な手法だったか			
5			
この手法を選んだ理由			
地域の実情を知る団体のノウハウを活かすため。			
今回採用した手法よりも有効なもの			
現在の手法が最も有効			
協働相手(パートナー)の選定は適切だったか			
5			
市とパートナーの間で、情報交換や意思疎通は円滑に行われたか			
5			
意思疎通における工夫や課題			
総会の実施			

市の役割	予算管理、各地区交通安全会への補助金の分配	パートナーの役割	交通安全運動の推進・普及徹底及び交通指導
市の役割の達成度	5	パートナーの役割の達成度	5
達成できなかった理由や改善点			
役割分担は適切だったか	5	市民と協働したことで、市単独で行った場合と比較してよりよい成果は得られたか	5

パートナーが持つ特性(知識・経験・ネットワークなど)は十分に活かされていたか	5	事業の実施を通じて得られた成果	年4回の交通安全運動期間における交通指導
事業全体に対して十分な費用対効果は得られたか	5	費用対効果についての補足	-
協働の視点から特に工夫した点	-	次年度以降の改善点や提案	-
その他	-		

パートナーの評価

事業全体に対する満足度	5	市の対応に対する満足度	5
上記の回答について、理由や感じたこと			
	-		

市民協働事業評価シート

事業名	No.3 タフティクラブ活動事業		
市 担当課	地域安全課	パートナー	交通安全タフティクラブぬまた

市の評価

事業の目的	幼児と母親の交通安全教育や研修の実施		
事業計画時の目標	要望のあった全ての保育園や幼稚園の交通安全教室に出席し、交通安全教育を実施する。	目標の達成度	5
達成できなかった理由	-		
採用した協働手法	補助・助成	目的達成に対して適切な手法だったか	5
この手法を選んだ理由	知識や経験の豊富な団体のノウハウを活かすため。	今回採用した手法よりも有効なもの	現在の手法が最も有効
協働相手(パートナー)の選定は適切だったか	5	市とパートナーの間で、情報交換や意思疎通は円滑に行われたか	5
意思疎通における工夫や課題	会議等での説明を丁寧にわかりやすく行う必要がある。		

市の役割	予算管理、会議室確保、交通安全教室等の日程調整	パートナーの役割	交通安全教室の講師
市の役割の達成度	5	パートナーの役割の達成度	5
達成できなかった理由や改善点	-		
役割分担は適切だったか	5	市民と協働したことで、市単独で行った場合と比較してよりよい成果は得られたか	5

パートナーが持つ特性(知識・経験・ネットワークなど)は十分に活かされていたか	5	事業の実施を通じて得られた成果	交通安全教室7回、動員数97人
事業全体に対して十分な費用対効果は得られたか	5	費用対効果についての補足	-
協働の視点から特に工夫した点	-	次年度以降の改善点や提案	-
その他	-		

パートナーの評価

事業全体に対する満足度	5	市の対応に対する満足度	5
上記の回答について、理由や感じたこと	-		

市民協働事業評価シート

事業名	No.4 沼田市国際交流事業		
市 担当課	企画政策課	パートナー	国際交流協会

市の評価

事業の目的	市民の国際的視野を広げ、国際姉妹都市等の住民及び在住外国人との交流を図り、国際親善に寄与すること。		
事業計画時の目標	国際交流フェスティバルほかイベントの開催。	目標の達成度	5
達成できなかった理由	-		
採用した協働手法	補助・助成	目的達成に対して適切な手法だったか	5
この手法を選んだ理由	国際交流を目的に組織された団体であり、そのノウハウと柔軟な事業実施が期待できるため。	今回採用した手法よりも有効なもの	現在の手法が最も有効
協働相手(パートナー)の選定は適切だったか	4	市とパートナーの間で、情報交換や意思疎通は円滑に行われたか	5
意思疎通における工夫や課題	協会長、事務局長との連絡を密に行い、事業実施に向けた運営委員会も適切に開催した。		

市の役割	事務局(予算管理、資料作成、会場確保、広報ほか)	パートナーの役割	企画・運営
市の役割の達成度	5	パートナーの役割の達成度	5
達成できなかった理由や改善点	-		
役割分担は適切だったか	5	市民と協働したことで、市単独で行った場合と比較してよりよい成果は得られたか	5

パートナーが持つ特性(知識・経験・ネットワークなど)は十分に活かされていたか	5	事業の実施を通じて得られた成果	交流事業開催31回、参加者延べ数757人
事業全体に対して十分な費用対効果は得られたか	4	費用対効果についての補足	外国人が気軽に参加できる、又は立ち寄ることができる場所、行事ができればよい。
協働の視点から特に工夫した点	会長、事務局長と意見交換し、より良い運営ができるよう努めた。	次年度以降の改善点や提案	多くの、また、様々な外国人と交流ができるよう、イベントの周知・工夫を図りたい。
その他	協会の役員はボランティアで活動しており、感謝する。		

パートナーの評価

事業全体に対する満足度	4	市の対応に対する満足度	5
上記の回答について、理由や感じたこと	事務局である市と協力して、予定していた事業を実施できた。外国人にもっと参加してほしいと感じている。		

市民協働事業評価シート

事業名	No.5 市民協働によるまちづくり事業補助金		
市 担当課	市民協働課	パートナー	いけだワクワク俱楽部 他3団体

市の評価

事業の目的	市民活動の推進を図る。		
事業計画時の目標	採択した6件の事業実施	目標の達成度	3
達成できなかった理由	2事業が途中辞退となったため。		
採用した協働手法	補助・助成	目的達成に対して適切な手法だったか	5
この手法を選んだ理由	交付要綱で定められているため。	今回採用した手法よりも有効なもの	今回採用した手法が最も有効
協働相手(パートナー)の選定は適切だったか	5	市とパートナーの間で、情報交換や意思疎通は円滑に行われたか	5
意思疎通における工夫や課題	交付申請や報告などへのアドバイスはできたが、それ以外の意思疎通はあまりできなかった。		

市の役割	補助金の交付	パートナーの役割	事業の実施
市の役割の達成度	3	パートナーの役割の達成度	3
達成できなかった理由や改善点	途中で辞退する事業がでてしまったため、今後は実行の可能性についても審査していく必要がある。		
役割分担は適切だったか	5	市民と協働したことで、市単独で行った場合と比較してよりよい成果は得られたか	5

パートナーが持つ特性(知識・経験・ネットワークなど)は十分に活かされていたか	5	事業の実施を通じて得られた成果	4事業の実施
事業全体に対して十分な費用対効果は得られたか	3	費用対効果についての補足	-
協働の視点から特に工夫した点	-	次年度以降の改善点や提案	事業計画を精査し、確実に実行できる事業に対して補助金が支給できるようにしたい。
その他			

パートナーの評価

事業全体に対する満足度	5	市の対応に対する満足度	5
上記の回答について、理由や感じたこと	2年間補助金がいただけたため、イベントとして定着させることができた。今後の資金繰りを考慮しながら、継続に向けてがんばっていきたい。		

市民協働事業評価シート

事業名	No.6 市民活動センター管理運営事業		
市 担当課	市民協働課 市民活動センター	パートナー	市民活動センター運営委員会

市の評価

事業の目的	市民活動の育成及び市民活動センターの円滑な運営を行うため、運営委員会において具体的な検討を行う。		
事業計画時の目標	委員会開催 年度2回	目標の達成度	3
達成できなかった理由	日程調整ができなかったため。		
採用した協働手法	企画立案・計画策定への参画	目的達成に対して適切な手法だったか	5
この手法を選んだ理由	市民活動を行っている団体の意見が反映され、望ましい委員会運営ができる。	今回採用した手法よりも有効なもの	現在の手法が最も有効
協働相手(パートナー)の選定は適切だったか	5	市とパートナーの間で、情報交換や意思疎通は円滑に行われたか	5
意思疎通における工夫や課題	委員会会議の形骸化が課題		

市の役割	予算、日程調整、会場確保及び委員会運営	パートナーの役割	企画・運営に対する具体的な知識や意見の提供
市の役割の達成度	4	パートナーの役割の達成度	5
達成できなかった理由や改善点	-		
役割分担は適切だったか	5	市民と協働したことで、市単独で行った場合と比較してよりよい成果は得られたか	5

パートナーが持つ特性(知識・経験・ネットワークなど)は十分に活かされていたか	4	事業の実施を通じて得られた成果	実施回数1回
事業全体に対して十分な費用対効果は得られたか	5	費用対効果についての補足	-
協働の視点から特に工夫した点	-	次年度以降の改善点や提案	参加者からより多くの意見等を引き出すこと
その他	-		

パートナーの評価

事業全体に対する満足度	5	市の対応に対する満足度	5
上記の回答について、理由や感じたこと	-		

市民協働事業評価シート

事業名	No.7 男女共同参画推進事業(セミナー開催、計画の推進)		
市 担当課	市民協働課	パートナー	北毛地域人権啓発活動ネットワーク協議会

市の評価

事業の目的	性別や年齢、障害の有無にかかわらず、誰もが個人として尊重され、その個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会の実現をめざし、広く市民の意識啓発を図るため、セミナーの開催にあたり、企画段階から市民に参加いただき検討する。		
事業計画時の目標	講演会1回、連続講座3回開催	目標の達成度	5
達成できなかった理由	-		
採用した協働手法	共催	目的達成に対して適切な手法だったか	5
この手法を選んだ理由	セミナーの連続講座については、企画実行委員会参加者が必要な情報を市民目線で考え、テーマを決定し、開催することができた。	今回採用した手法よりも有効なもの	今回採用した手法が最も有効
協働相手(パートナー)の選定は適切だったか	5	市とパートナーの間で、情報交換や意思疎通は円滑に行われたか	5
意思疎通における工夫や課題	新たな参加者を増やすための工夫を検討し、来年度の実施に向け検討したい。		

市の役割	会場確保、広報、委員会運営	パートナーの役割	市にとって必要な課題について、市民目線でセミナーのテーマを設定 情報紙の編集
市の役割の達成度	5	パートナーの役割の達成度	5
達成できなかった理由や改善点	-		
役割分担は適切だったか	5	市民と協働したことで、市単独で行った場合と比較してよりよい成果は得られたか	5

パートナーが持つ特性(知識・経験・ネットワークなど)は十分に活かされていたか	5	事業の実施を通じて得られた成果	講演会開催1回 参加者60名 連続講座3回開催 参加者延べ97名
事業全体に対して十分な費用対効果は得られたか	4	費用対効果についての補足	新たな参加者を増やすための工夫を検討し、実施に向け検討したい。
協働の視点から特に工夫した点	-	次年度以降の改善点や提案	-
その他	-		

パートナーの評価

事業全体に対する満足度	5	市の対応に対する満足度	5
上記の回答について、理由や感じたこと	-		

市民協働事業評価シート

事業名	No.8 利南地区コミュニティセンターまつり		
市 担当課	市民協働課利南地区コミュニティセンター	パートナー	利南地区振興協議会事務局

市の評価

事業の目的			
事業計画時の目標			令和7年2月15日(土)・16日(日):9時00分～15時30分 2日間の延べ来場者数200人
達成できなかった理由	目標の達成度	4	作品の展示主体から参加型への変換により、従来の展示型来場者を呼びこむ事ができなかつたためと、周知が行き届かなかつた事が主な理由と考えられる。 令和元年度に開催された「利南公民館まつり」以後、コロナ禍のため開催を中止していたが、令和5年度から「利南地区コミュニティセンターまつり」として開催し、本年度で2年目となった。 以前の公民館まつりのような団体ボランティア協力による展示主体の開催は難しかつたため、来場者が参加して様々な体験ができる体験型を主体として開催し、本年度も同様な方針で実施した。 アンケート結果及び現場での意見でも好評な意見が多かつたが、展示作品を要望する声もあつた。 展示作品の募集については、回覧による周知、団体代表者やコミュニティセンター講座参加者を通じて作品の募集をおこなつたが、手応えは少なかつた。 アンケートの結果を踏まえ、次回開催に向け対応していきたい。
採用した協働手法	後援	目的達成に対して適切な手法だったか	4
この手法を選んだ理由	地域の実情を知る団体のノウハウを活かすため。	今回採用した手法よりも有効なもの	実行委員会・協議会
協働相手(パートナー)の選定は適切だったか	5	市とパートナーの間で、情報交換や意思疎通は円滑に行われたか	5
意思疎通における工夫や課題	本部役員会議での説明		

市の役割	予算管理、会場確保、広報	パートナーの役割	資金提供、地域と市の協力関係醸造、地域住民への周知
市の役割の達成度	3	パートナーの役割の達成度	2
達成できなかつた理由や改善点	事業内容に対して、パートナーの役割が低かつた。		
役割分担は適切だったか	4	市民と協働したことで、市単独で行った場合と比較してよりよい成果は得られたか	4

パートナーが持つ特性(知識・経験・ネットワークなど)は十分に活かされていたか	3	事業の実施を通じて得られた成果	実施期日:令和7年2月15日(土)・16日(日)9時00分～15時30分 来場者数:15日 54名、16日 118名、合計 172名
事業全体に対して十分な費用対効果は得られたか	3	費用対効果についての補足	-
協働の視点から特に工夫した点	3	次年度以降の改善点や提案	事業内容などに対する、意見聴取をおこなう。
その他	-		

パートナーの評価

事業全体に対する満足度	3	市の対応に対する満足度	3
上記の回答について、理由や感じたこと	-		

市民協働事業評価シート

事業名	No.9 地域いきいきチャレンジ事業		
市 担当課	市民協働課池田地区コミュニティセンター	パートナー	明治安田生命 群馬支社 沼田営業所

市の評価

事業の目的	女性のライフサイクルと病気の関係を学ぶ、子宮頸がんと乳がんについて専門医の知見から学ぶ、治療を支える公的医療保険や費用の備え方を学ぶ。		
事業計画時の目標	20名	目標の達成度	3
達成できなかった理由	事業目的に対する需要がなかったため。		
採用した協働手法	事業協力・協定	目的達成に対して適切な手法だったか	5
この手法を選んだ理由	専門的知識を持つ企業のノウハウを活かすため。	今回採用した手法よりも有効なもの	現在の手法が最も有効
協働相手(パートナー)の選定は適切だったか	5	市とパートナーの間で、情報交換や意思疎通は円滑に行われたか	5
意思疎通における工夫や課題	-		

市の役割	予算管理、会場確保、広報	パートナーの役割	専門講師の手配
市の役割の達成度	5	パートナーの役割の達成度	5
達成できなかった理由や改善点	-		
役割分担は適切だったか	5	市民と協働したことで、市単独で行った場合と比較してよりよい成果は得られたか	5

パートナーが持つ特性(知識・経験・ネットワークなど)は十分に活かされていたか	5	事業の実施を通じて得られた成果	5名
事業全体に対して十分な費用対効果は得られたか	5	費用対効果についての補足	-
協働の視点から特に工夫した点	-	次年度以降の改善点や提案	ポスター・チラシなどを工夫し、さらに広く住民に周知していくとともに、事業の充実を図ることが必要である。
その他	-		

パートナーの評価

事業全体に対する満足度	5	市の対応に対する満足度	5
上記の回答について、理由や感じたこと	-		

市民協働事業評価シート

事業名	No.10 池田地区文化祭		
市 担当課	市民協働課池田地区コミュニティセンター	パートナー	池田地区振興協議会

市の評価

事業の目的	地域課題の解決に向けた取り組みや心豊かなコミュニティの形成を図ることを目的とする。		
事業計画時の目標	全3回開催	目標の達成度	5
達成できなかった理由	-		
採用した協働手法	共催	目的達成に対して適切な手法だったか	5
この手法を選んだ理由	地域の実情を知る団体のノウハウを活かすため。	今回採用した手法よりも有効なもの	現在の手法が最も有効
協働相手(パートナー)の選定は適切だったか	5	市とパートナーの間で、情報交換や意思疎通は円滑に行われたか	5
意思疎通における工夫や課題	-		

市の役割	予算管理、会場確保、広報	パートナーの役割	運営の補助
市の役割の達成度	5	パートナーの役割の達成度	5
達成できなかった理由や改善点	-		
役割分担は適切だったか	5	市民と協働したことで、市単独で行った場合と比較してよりよい成果は得られたか	5

パートナーが持つ特性(知識・経験・ネットワークなど)は十分に活かされていたか	5	事業の実施を通じて得られた成果	参加者数129名、全3回開催
事業全体に対して十分な費用対効果は得られたか	5	費用対効果についての補足	-
協働の視点から特に工夫した点	高齢者が多く、青少年(若年)層の文化芸術活動への参加が少ない傾向にある。	次年度以降の改善点や提案	ポスター・チラシなどを工夫し、さらに広く住民に周知していくとともに、事業の充実を図ることが必要である。
その他	-		

パートナーの評価

事業全体に対する満足度	5	市の対応に対する満足度	5
上記の回答について、理由や感じたこと	-		

市民協働事業評価シート

事業名	No.11 池田高齢者教室		
市 担当課	市民協働課池田地区コミュニティセンター	パートナー	池田地区老人クラブ連合会

市の評価

事業の目的	高齢者が変化する地域社会のなかで、尊厳を失うことなく対処できる力を身につけ、老後の生きがいと潤いのある活動を行うことを目的とする。		
事業計画時の目標	全5回開催	目標の達成度	5
達成できなかった理由	-		
採用した協働手法	実行委員会・協議会	目的達成に対して適切な手法だったか	5
この手法を選んだ理由	地域の実情を知る団体のノウハウを活かすため。	今回採用した手法よりも有効なもの	現在の手法が最も有効
協働相手(パートナー)の選定は適切だったか	5	市とパートナーの間で、情報交換や意思疎通は円滑に行われたか	5
意思疎通における工夫や課題	-		

市の役割	予算管理、会場確保、広報	パートナーの役割	専門講師の手配
市の役割の達成度	5	パートナーの役割の達成度	5
達成できなかった理由や改善点	-		
役割分担は適切だったか	5	市民と協働したことで、市単独で行った場合と比較してよりよい成果は得られたか	5

パートナーが持つ特性(知識・経験・ネットワークなど)は十分に活かされていたか	5	事業の実施を通じて得られた成果	全5回開催
事業全体に対して十分な費用対効果は得られたか	5	費用対効果についての補足	-
協働の視点から特に工夫した点	-	次年度以降の改善点や提案	-
その他	-		

パートナーの評価

事業全体に対する満足度	5	市の対応に対する満足度	5
上記の回答について、理由や感じたこと	-		

市民協働事業評価シート

事業名	No.12 薄根地区芸能祭		
市 担当課	市民協働課 薄根地区コミュニティセンター	パートナー	薄根地区振興協議会事務局

市の評価

事業の目的	住民自らが参加することにより、仲間づくりや地域づくりを進める。		
事業計画時の目標	-	目標の達成度	4
達成できなかった理由	-		
採用した協働手法	実行委員会・協議会	目的達成に対して適切な手法だったか	5
この手法を選んだ理由	地域の実情を知る団体のノウハウを活かすため。	今回採用した手法よりも有効なもの	現在の手法が最も有効
協働相手(パートナー)の選定は適切だったか	4	市とパートナーの間で、情報交換や意思疎通は円滑に行われたか	4
意思疎通における工夫や課題	準備段階から説明と情報共有を行った。		

市の役割	予算管理、会場確保、広報	パートナーの役割	企画・運営、人の手配
市の役割の達成度	4	パートナーの役割の達成度	4
達成できなかった理由や改善点	準備や当日など細かな人員配置を行い、本部に市など緊急対応できる人員を配置できるようにしていきたい。		
役割分担は適切だったか	4	市民と協働したことで、市単独で行った場合と比較してよりよい成果は得られたか	4

パートナーが持つ特性(知識・経験・ネットワークなど)は十分に活かされていたか	4	事業の実施を通じて得られた成果	2日間合計 約180人
事業全体に対して十分な費用対効果は得られたか	4	費用対効果についての補足	幼稚園に比べCC来館者数が少なかった。
協働の視点から特に工夫した点	各団体の主体性を尊重した。	次年度以降の改善点や提案	準備をもっとパートナーに割り振る。
その他	-		

パートナーの評価

事業全体に対する満足度	4	市の対応に対する満足度	5
上記の回答について、理由や感じたこと	予算面や人員、準備など大変助かっている。		

市民協働事業評価シート

事業名	No.13 川田地区民展		
市 担当課	市民協働課 川田地区コミュニティセンター	パートナー	ふれあいカワダ会事務局

市の評価

事業の目的	地域住民の作品を展示し、地区民展に参加することにより、技術の向上を図り、交流の場を提供し、地域づくりを進める。		
事業計画時の目標	-	目標の達成度	5
達成できなかった理由	-		
採用した協働手法	後援	目的達成に対して適切な手法だったか	5
この手法を選んだ理由	地域の実情を知る団体のノウハウを活かすため。	今回採用した手法よりも有効なもの	現在の手法が最も有効
協働相手(パートナー)の選定は適切だったか	5	市とパートナーの間で、情報交換や意思疎通は円滑に行われたか	5
意思疎通における工夫や課題	計画段階から情報共有を行った。		

市の役割	予算管理、会場確保、広報、主催団体事務局	パートナーの役割	企画・運営
市の役割の達成度	5	パートナーの役割の達成度	5
達成できなかった理由や改善点	-		
役割分担は適切だったか	5	市民と協働したことで、市単独で行った場合と比較してよりよい成果は得られたか	5

パートナーが持つ特性(知識・経験・ネットワークなど)は十分に活かされていたか	5	事業の実施を通じて得られた成果	-
事業全体に対して十分な費用対効果は得られたか	5	費用対効果についての補足	-
協働の視点から特に工夫した点	-	次年度以降の改善点や提案	-
その他	-		

パートナーの評価

事業全体に対する満足度	5	市の対応に対する満足度	5
上記の回答について、理由や感じたこと	-		

市民協働事業評価シート

事業名	No.14 川田卓球教室		
市 担当課	市民協働課 川田地区コミュニティセンター	パートナー	ふれあいカワダ会事務局

市の評価

事業の目的	高齢者から子供まで地域住民が気軽に参加出来る場を提供し、世代間交流、地域コミュニティの活性化を図る。		
事業計画時の目標	-	目標の達成度	5
達成できなかった理由	-		
採用した協働手法	後援	目的達成に対して適切な手法だったか	5
この手法を選んだ理由	専門的な技術を持ち、地域の実情を知る団体のノウハウを活かすため。	今回採用した手法よりも有効なもの	現在の手法が最も有効
協働相手(パートナー)の選定は適切だったか	5	市とパートナーの間で、情報交換や意思疎通は円滑に行われたか	5
意思疎通における工夫や課題	計画段階から情報共有を行った。		

市の役割	予算管理、会場確保、広報、主催団体事務局	パートナーの役割	企画・運営
市の役割の達成度	5	パートナーの役割の達成度	5
達成できなかった理由や改善点	-		
役割分担は適切だったか	5	市民と協働したことで、市単独で行った場合と比較してよりよい成果は得られたか	5

パートナーが持つ特性(知識・経験・ネットワークなど)は十分に活かされていたか	5	事業の実施を通じて得られた成果	-
事業全体に対して十分な費用対効果は得られたか	5	費用対効果についての補足	-
協働の視点から特に工夫した点	-	次年度以降の改善点や提案	-
その他	-		

パートナーの評価

事業全体に対する満足度	5	市の対応に対する満足度	5
上記の回答について、理由や感じたこと	-		

市民協働事業評価シート

事業名	No.15 白沢ふるさと交流会		
市 担当課	市民協働課 白沢地区コミュニティセンター	パートナー	白沢ふるさと交流会実行委員会

市の評価

事業の目的			
地域の伝統行事を地域住民等が協力して継承し、親睦・交流を促進することで、白沢町の地域振興を図る。			
事業計画時の目標			
参加者数1,000名、8月に1回開催			
目標の達成度			
5			
達成できなかった理由			
-			
採用した協働手法			
委託			
目的達成に対して適切な手法だったか			
5			
この手法を選んだ理由			
地域の実情を知る団体のノウハウを活かすため。			
今回採用した手法よりも有効なもの			
現在の手法が最も有効			
協働相手(パートナー)の選定は適切だったか			
5			
市とパートナーの間で、情報交換や意思疎通は円滑に行われたか			
5			
意思疎通における工夫や課題			
実行委員会の外、専門分野別に会議を開催した。			

市の役割	予算管理、資料作成、会場確保、住民周知等	パートナーの役割	企画・運営、協賛金集め、準備・後片付け等
市の役割の達成度	5	パートナーの役割の達成度	4
達成できなかった理由や改善点			
改善点として、やるべき業務内容が伝わっていない方がいた。役割分担をより明確にするべきだった。			
役割分担は適切だったか	5	市民と協働したことで、市単独で行った場合と比較してよりよい成果は得られたか	5

パートナーが持つ特性(知識・経験・ネットワークなど)は十分に活かされていたか	5	事業の実施を通じて得られた成果	集客人数約1,200名
事業全体に対して十分な費用対効果は得られたか	5	費用対効果についての補足	-
協働の視点から特に工夫した点	業務内容を分かりやすく明確に文書化するよう努めた。	次年度以降の改善点や提案	より多く集客できるよう会議を重ねて検討したい。
その他	-		

パートナーの評価

事業全体に対する満足度	5	市の対応に対する満足度	5
上記の回答について、理由や感じたこと	第1回の交流会で負担が大きかった		

市民協働事業評価シート

事業名	No.16 白沢町文化祭		
市 担当課	市民協働課 白沢地区コミュニティセンター	パートナー	文化協会白沢支部

市の評価

市の評価			
事業の目的	芸術・文化に対する創作意欲と鑑賞力を高め、町民の文化の向上を図る。		
事業計画時の目標	参加者数350名	目標の達成度	5
達成できなかった理由	-		
採用した協働手法	委託	目的達成に対して適切な手法だったか	5
この手法を選んだ理由	専門性や柔軟性などの特徴を生かした、より効果的な取り組みが期待できるため。	今回採用した手法よりも有効なもの	現在の手法が最も有効
協働相手(パートナー)の選定は適切だったか	5	市とパートナーの間で、情報交換や意思疎通は円滑に行われたか	5
意思疎通における工夫や課題	打合せ会議を実施し、意見交換を行った。		

市の役割	予算管理、会場確保、広報	パートナーの役割	企画・運営
市の役割の達成度	5	パートナーの役割の達成度	5
達成できなかった理由や改善点	-		
役割分担は適切だったか	5	市民と協働したことで、市単独で行った場合と比較してよりよい成果は得られたか	5

パートナーが持つ特性(知識・経験・ネットワークなど)は十分に活かされていたか	5	事業の実施を通じて得られた成果	事前準備や片付けを含め、目標以上の動員人数を達成できた。
事業全体に対して十分な費用対効果は得られたか	5	費用対効果についての補足	-
協働の視点から特に工夫した点	-	次年度以降の改善点や提案	-
その他	-		

パートナーの評価

事業全体に対する満足度	5	市の対応に対する満足度	5
上記の回答について、理由や感じたこと	-		

市民協働事業評価シート

事業名	No.17 白沢町高齢者教室		
市 担当課	市民協働課 白沢地区コミュニティセンター	パートナー	白沢町高齢者教室 燐々会

市の評価

事業の目的			
高齢者が心身共に明るく、健康で生きがいのある生活を築くための必要な知識を習得する。			
事業計画時の目標	申込者数64人、全8回開催	目標の達成度	4
達成できなかった理由	申込者数は64人だったが、1回の平均参加者数が34.4人と、申込者の高齢化により参加率が低くなっている。		
採用した協働手法	事業協力・協定	目的達成に対して適切な手法だったか	5
この手法を選んだ理由	地域の実情を知る団体のノウハウを活かすため。	今回採用した手法よりも有効なもの	現在の手法が最も有効
協働相手(パートナー)の選定は適切だったか	5	市とパートナーの間で、情報交換や意思疎通は円滑に行われたか	5
意思疎通における工夫や課題	運営委員会を年2回開催し、学習内容について検討。		

市の役割	企画・運営、会場確保、講師の手配、通知作成	パートナーの役割	企画・運営、受講者募集、通知配付
市の役割の達成度	5	パートナーの役割の達成度	5
達成できなかった理由や改善点	-		
役割分担は適切だったか	5	市民と協働したことで、市単独で行った場合と比較してよりよい成果は得られたか	5

パートナーが持つ特性(知識・経験・ネットワークなど)は十分に活かされていたか	5	事業の実施を通じて得られた成果	8回開催、参加者延べ275人
事業全体に対して十分な費用対効果は得られたか	5	費用対効果についての補足	県の出前講座などを利用したため費用は発生しなかった。
協働の視点から特に工夫した点	運営委員を通して会員の意見や要望を反映させている。	次年度以降の改善点や提案	参加者の高齢化が進んでいるため、60代の方にも多く受講していただけるよう募集方法等を工夫したい。
その他	-		

パートナーの評価

事業全体に対する満足度	5	市の対応に対する満足度	5
上記の回答について、理由や感じたこと	会員の意見や要望を反映させている		

市民協働事業評価シート

事業名	No.18 環境啓発事業(環境フォーラムぬまた等)		
市 担当課	環境課	パートナー	ぬまた環境ネット

市の評価

事業の目的	地球温暖化を防ぐため、市民が環境への関心や問題意識を深め、環境保全活動に参加する意欲を高めることを目的とする。		
事業計画時の目標	来場者数399人(令和5年度来場者数)以上	目標の達成度	5
達成できなかった理由	-		
採用した協働手法	委託	目的達成に対して適切な手法だったか	5
この手法を選んだ理由	各団体の活動を広げ、市と協働して環境意識を啓発するため。	今回採用した手法よりも有効なもの	現在の手法が最も有効
協働相手(パートナー)の選定は適切だったか	5	市とパートナーの間で、情報交換や意思疎通は円滑に行われたか	5
意思疎通における工夫や課題	出展会議等を開催し調整を図っている。		

市の役割	予算管理、会場確保、広報、講演会講師等の手配	パートナーの役割	出展ブースの企画・運営、来場者への活動紹介等
市の役割の達成度	5	パートナーの役割の達成度	5
達成できなかった理由や改善点	-		
役割分担は適切だったか	5	市民と協働したことで、市単独で行った場合と比較してよりよい成果は得られたか	5

パートナーが持つ特性(知識・経験・ネットワークなど)は十分に活かされていたか	5	事業の実施を通じて得られた成果	年1回開催、来場者数593人
事業全体に対して十分な費用対効果は得られたか	5	費用対効果についての補足	-
協働の視点から特に工夫した点	-	次年度以降の改善点や提案	環境啓発事業として、若年層にも参加しやすいよう継続していきたい。
その他	-		

パートナーの評価

事業全体に対する満足度	5	市の対応に対する満足度	4
上記の回答について、理由や感じたこと	ぬまた環境ネットの加盟団体の活動を紹介するとともに、昨今の環境問題の啓発に努めた。また、講演会は、多くの来場者があり、講演内容も環境に関する有意義なものであった。		

市民協働事業評価シート

事業名	No.19 環境啓発事業(ブナの幼木移植)		
市 担当課	環境課	パートナー	利根沼田自然を愛する会

市の評価

事業の目的	玉原の人工林(ケヤマハンノキ林)に同地に育成するブナの幼木を移植することにより、自然植生のブナ林の再生を図る。		
事業計画時の目標	年1回実施	目標の達成度	5
達成できなかった理由	-		
採用した協働手法	事業協力・協定	目的達成に対して適切な手法だったか	5
この手法を選んだ理由	市では広報や物品準備をし、団体側では企画・運営をするなど、分担することでお互いの特性を生かせるため。	今回採用した手法よりも有効なもの	現在の手法が最も有効
協働相手(パートナー)の選定は適切だったか	5	市とパートナーの間で、情報交換や意思疎通は円滑に行われたか	5
意思疎通における工夫や課題	実施日の決定や当日の参加人数等を頻繁に連絡を取り合って行えた。		

市の役割	広報、つるはし等の道具の準備	パートナーの役割	企画・運営、ブナの幼木準備
市の役割の達成度	5	パートナーの役割の達成度	5
達成できなかった理由や改善点	-		
役割分担は適切だったか	5	市民と協働したことで、市単独で行った場合と比較してよりよい成果は得られたか	5

パートナーが持つ特性(知識・経験・ネットワークなど)は十分に活かされていたか	5	事業の実施を通じて得られた成果	年1回開催、参加人数28人
事業全体に対して十分な費用対効果は得られたか	5	費用対効果についての補足	-
協働の視点から特に工夫した点	-	次年度以降の改善点や提案	ブナ林再生のために継続的に事業を行う必要がある。
その他	-		

パートナーの評価

事業全体に対する満足度	5	市の対応に対する満足度	5
上記の回答について、理由や感じたこと	ブナの幼木移植のほかに希望者には自然観察会を行っており、参加者の輪が広がっている。		

市民協働事業評価シート

事業名	No.20 春・秋の市内一斉清掃		
市 担当課	環境課	パートナー	環境保健協議会

市の評価

市の評価			
事業の目的	道路・河川及び周辺環境の美化及び不法投棄の防止を図り。更に住民の環境美化意識の向上とともに清掃活動を通して地域住民の交流を図る。		
事業計画時の目標	年2回開催	目標の達成度	5
達成できなかった理由	-		
採用した協働手法	共催	目的達成に対して適切な手法だったか	5
この手法を選んだ理由	各町の団体役員を中心として住民の参加を促すため。	今回採用した手法よりも有効なもの	現在の手法が最も有効
協働相手(パートナー)の選定は適切だったか	5	市とパートナーの間で、情報交換や意思疎通は円滑に行われたか	5
意思疎通における工夫や課題	団体の総会が実施内容の確認を含んでいるため、日程調整がタイトとなり、日程調整が難しかった。		

市の役割	予算確保、広報	パートナーの役割	当日の運営、結果報告
市の役割の達成度	5	パートナーの役割の達成度	5
達成できなかった理由や改善点	-		
役割分担は適切だったか	5	市民と協働したことで、市単独で行った場合と比較してよりよい成果は得られたか	5

パートナーが持つ特性(知識・経験・ネットワークなど)は十分に活かされていたか	5	事業の実施を通じて得られた成果	年2回開催、参加者数:1回当たり約10,000人
事業全体に対して十分な費用対効果は得られたか	5	費用対効果についての補足	清掃活動を通してゴミのポイ捨て抑制などの効果がある。
協働の視点から特に工夫した点	-	次年度以降の改善点や提案	-
その他	-		

パートナーの評価

事業全体に対する満足度	5	市の対応に対する満足度	5
上記の回答について、理由や感じたこと	-		

市民協働事業評価シート

事業名	No.21 有価物集団回収事業		
市 担当課	環境課	パートナー	熊の子保護者会

市の評価

市の評価			
事業の目的	再生利用が可能な資源を回収し、リサイクルの推進及びごみの減量化に努める。		
事業計画時の目標	各団体年4回以上開催	目標の達成度	5
達成できなかった理由	-		
採用した協働手法	補助・助成	目的達成に対して適切な手法だったか	5
この手法を選んだ理由	住民による有価物回収を通じてリサイクル意識の向上とごみの減量化を図るため。	今回採用した手法よりも有効なもの	現在の手法が最も有効
協働相手(パートナー)の選定は適切だったか	5	市とパートナーの間で、情報交換や意思疎通は円滑に行われたか	3
意思疎通における工夫や課題	少子高齢化による活動団体数の減少が課題となる。		

市の役割	奨励金の交付	パートナーの役割	有価物の集団回収
市の役割の達成度	5	パートナーの役割の達成度	5
達成できなかった理由や改善点	-		
役割分担は適切だったか	4	市民と協働したことで、市単独で行った場合と比較してよりよい成果は得られたか	5

パートナーが持つ特性(知識・経験・ネットワークなど)は十分に活かされていたか	5	事業の実施を通じて得られた成果	年間295tの資源回収が図られた。
事業全体に対して十分な費用対効果は得られたか	5	費用対効果についての補足	-
協働の視点から特に工夫した点	-	次年度以降の改善点や提案	-
その他	-		

パートナーの評価

事業全体に対する満足度	5	市の対応に対する満足度	5
上記の回答について、理由や感じたこと	-		

市民協働事業評価シート

事業名	No.22 沼田市子育て支援ネットワーク事業		
市 担当課	こども課	パートナー	沼田市子育て支援ネットワーク推進協議会

市の評価

事業の目的			
市内の子育てサークル、子育て支援グループ等がネットワークを組み、子育てしやすい沼田を作る。			
事業計画時の目標	20団体、年3回開催	目標の達成度	4
達成できなかった理由			-
採用した協働手法	実行委員会・協議会	目的達成に対して適切な手法だったか	4
この手法を選んだ理由	地域の子育て団体等のネットワークを利用することで、地域の実情を知ることができるため。	今回採用した手法よりも有効なもの	現在の手法が最も有効
協働相手(パートナー)の選定は適切だったか	4	市とパートナーの間で、情報交換や意思疎通は円滑に行われたか	5
意思疎通における工夫や課題	構成団体等の数が多く、会議を開催する際に日程調整が難しかった。		

市の役割	市の子育て情報等の発信	パートナーの役割	会場確保、会議の運営
市の役割の達成度	5	パートナーの役割の達成度	5
達成できなかった理由や改善点	-		
役割分担は適切だったか	5	市民と協働したことで、市単独で行った場合と比較してよりよい成果は得られたか	4

パートナーが持つ特性(知識・経験・ネットワークなど)は十分に活かされていたか	5	事業の実施を通じて得られた成果	16団体、年2回開催
事業全体に対して十分な費用対効果は得られたか	3	費用対効果についての補足	-
協働の視点から特に工夫した点	-	次年度以降の改善点や提案	-
その他	-		

パートナーの評価

事業全体に対する満足度	4	市の対応に対する満足度	4
上記の回答について、理由や感じたこと	-		

市民協働事業評価シート

事業名	No.23 未来のライフデザイン啓発動画作成事業		
市 担当課	こども課	パートナー	Hug Hapi

市の評価

事業の目的	就労、結婚子育て等に関する啓発動画を作成し、若者が将来に向けて自分らしい選択を考える機会を提供する。		
事業計画時の目標	動画公開から1か月の再生回数1000回	目標の達成度	3
達成できなかった理由	事前周知が足りなかった。		
採用した協働手法	事業協力・協定	目的達成に対して適切な手法だったか	5
この手法を選んだ理由	地域の若い世代や子育て世代をよく知る団体であるため等身大の姿を動画に反映させることができ、団体の専門的な技術が生かせるため。	今回採用した手法よりも有効なもの	現在の手法が最も有効
協働相手(パートナー)の選定は適切だったか	5	市とパートナーの間で、情報交換や意思疎通は円滑に行われたか	5
意思疎通における工夫や課題	年4回の打ち合わせを実施し、お互いの意見を取り入れながら作成ができた。		

市の役割	予算管理、広報	パートナーの役割	企画、編集
市の役割の達成度	5	パートナーの役割の達成度	5
達成できなかった理由や改善点	取材の同行について日程調整が難しかった。		
役割分担は適切だったか	5	市民と協働したことで、市単独で行った場合と比較してよりよい成果は得られたか	5

パートナーが持つ特性(知識・経験・ネットワークなど)は十分に活かされていたか	5	事業の実施を通じて得られた成果	現在も市公式YouTubeに公開中であり再生回数も伸び続けている。
事業全体に対して十分な費用対効果は得られたか	5	費用対効果についての補足	-
協働の視点から特に工夫した点	5	次年度以降の改善点や提案	協働の視点や費用対効果を改めて見直し、若者が自らのライフプランを描きやすいような啓発動画の作成について検討する。
その他	Instagramでの再生回数が多かったことからSNSへの投稿が効果的だと思った。		

パートナーの評価

事業全体に対する満足度	4	市の対応に対する満足度	4
上記の回答について、理由や感じたこと	P2に関しては、時代に合わせて多くの方々に見ていただきやすい発信を考え、内容の検討とともに、長い動画から1分の動画を12本という形に変えたこと、Instagramにも発信したこと、沼田市公式YouTube、Instagramの総再生数が50,370という目に見える成果を出せたと思います。		

市民協働事業評価シート

事業名	No.24 ハッピープロジェクト事業		
市 担当課	こども課	パートナー	ハッピープロジェクト運営委員会

市の評価

事業の目的	結婚を希望する若い世代にイベントなどの出会いの場を提供し、地域全体で支援する社会づくりを推進する。		
事業計画時の目標	セミナー参加者 20名 イベント参加者数 20名	目標の達成度	2
達成できなかった理由	イベントについて女性の参加者が集まらず開催することができなかった。		
採用した協働手法	委託	目的達成に対して適切な手法だったか	5
この手法を選んだ理由	委員会を組織している様々な団体によるネットワークや発想を事業に活かすことができるため。	今回採用した手法よりも有効なもの	現在の手法が最も有効
協働相手(パートナー)の選定は適切だったか	5	市とパートナーの間で、情報交換や意思疎通は円滑に行われたか	4
意思疎通における工夫や課題	企画、運営のため運営委員会を適宜開催。日程調整が難しいためオンライン会議も検討。		

市の役割	予算管理、広報、運営	パートナーの役割	企画、広報、運営
市の役割の達成度	5	パートナーの役割の達成度	5
達成できなかった理由や改善点	-		
役割分担は適切だったか	5	市民と協働したことで、市単独で行った場合と比較してよりよい成果は得られたか	5

パートナーが持つ特性(知識・経験・ネットワークなど)は十分に活かされていたか	5	事業の実施を通じて得られた成果	結婚応援セミナー 2回開催 16名の参加 婚活に対する意識向上を図った。
事業全体に対して十分な費用対効果は得られたか	4	費用対効果についての補足	-
協働の視点から特に工夫した点	イベントの企画は団体のアイデアをもとに決定し、事前準備は主に市が事務局として進め、広報や運営は協働で実施するなど効率的な役割分担ができている。	次年度以降の改善点や提案	地域資源を最大限に生かせるイベントを企画・開催し、より効果的な事業を推進していきたい。
その他	イベントの周知方法や手段について今後の課題となった。		

パートナーの評価

事業全体に対する満足度	3	市の対応に対する満足度	3
上記の回答について、理由や感じたこと	-		

市民協働事業評価シート

事業名	No.25 老人クラブ助成事業		
市 担当課	介護高齢課	パートナー	沼田市老人クラブ連合会

市の評価

事業の目的	高齢化が進む中、地域の担い手として高齢者に係る期待が増してきている現在において、その中心的な活動の場となる老人クラブの育成強化を図ることを目的としている。		
事業計画時の目標	単位老人クラブ(31クラブ)に1年間の活動費の助成として補助金を交付する。	目標の達成度	5
達成できなかった理由	-		
採用した協働手法	補助・助成	目的達成に対して適切な手法だったか	5
この手法を選んだ理由	事業の柔軟性、迅速性が期待できるため。	今回採用した手法よりも有効なもの	現在の手法が最も有効
協働相手(パートナー)の選定は適切だったか	5	市とパートナーの間で、情報交換や意思疎通は円滑に行われたか	5
意思疎通における工夫や課題	総会、理事会及び会長会議を行い、意思の疎通を図った。		

市の役割	予算管理、書類の取りまとめ、会場確保	パートナーの役割	各単位クラブにおいて文化活動や健康づくりのための事業を行う。
市の役割の達成度	5	パートナーの役割の達成度	5
達成できなかった理由や改善点	提出書類の簡素化及び提出方法について、各会長の負担を軽減するため検討していく必要がある。		
役割分担は適切だったか	5	市民と協働したことで、市単独で行った場合と比較してよりよい成果は得られたか	5

パートナーが持つ特性(知識・経験・ネットワークなど)は十分に活かされていたか	5	事業の実施を通じて得られた成果	31の単位クラブにおいて文化活動や健康づくりのための事業が行われた。
事業全体に対して十分な費用対効果は得られたか	5	費用対効果についての補足	各単位クラブの会員数に対して適切な額の補助金を交付することができた。
協働の視点から特に工夫した点	実施事業については各単位クラブに主体的に行ってもらい、自主性を尊重した。	次年度以降の改善点や提案	クラブ数、会員数とも減少しており、これに歯止めをかけていく必要がある。
その他	クラブ数、会員数の減少のほか、役員のなり手不足も課題となっている。役員が決まらず解散になるクラブもあるため、役員の負担を軽減できるよう配布物の受け渡しや、書類の提出など簡素化できるものは簡素化していく必要がある。		

パートナーの評価

事業全体に対する満足度	5	市の対応に対する満足度	5
上記の回答について、理由や感じたこと	-		

市民協働事業評価シート

事業名	No.26 地区福トレ団体支援事業		
市 担当課	沼田市地域包括支援センター	パートナー	ひよこ(薄根町) 他43団体

市の評価

事業の目的	通いの場にて、転倒予防や生活に必要な筋肉・身体の動きをつける。		
事業計画時の目標	地区福トレ団体44団体	目標の達成度	5
達成できなかった理由	-		
採用した協働手法	共催	目的達成に対して適切な手法だったか	5
この手法を選んだ理由	住民主体の通いの場とするため。	今回採用した手法よりも有効なもの	現在の手法が最も有効
協働相手(パートナー)の選定は適切だったか	5	市とパートナーの間で、情報交換や意思疎通は円滑に行われたか	5
意思疎通における工夫や課題	代表者との連携を必要に応じ行っている。		

市の役割	団体立ち上げ支援(福老体操指導等)・継続支援(専門職派遣サービス等)	パートナーの役割	運営
市の役割の達成度	5	パートナーの役割の達成度	5
達成できなかった理由や改善点	-		
役割分担は適切だったか	5	市民と協働したことで、市単独で行った場合と比較してよりよい成果は得られたか	5

パートナーが持つ特性(知識・経験・ネットワークなど)は十分に活かされていたか	5	事業の実施を通じて得られた成果	地区福トレ団体44団体(新規立ち上げ団体数1・継続団体43)
事業全体に対して十分な費用対効果は得られたか	5	費用対効果についての補足	-
協働の視点から特に工夫した点	団体の意見を尊重し、事業を実施している。	次年度以降の改善点や提案	地区福トレ団体の参加者が高齢化してきているので、新規立ち上げ団体を増やすことが課題。
その他	-		

パートナーの評価

事業全体に対する満足度	5	市の対応に対する満足度	5
上記の回答について、理由や感じたこと	筋トレを行うことで、体に効いている実感がある。また、指導に来てもらうことで、正しい運動方法も覚えられるのでありがたい。		

市民協働事業評価シート

事業名	No.27 地区健康教室		
市 担当課	健康課	パートナー	沼田市保健推進員会

市の評価

事業の目的	生活習慣病予防やこころの健康など、健康に関する知識の普及を図り、「自分の健康は自分で守る」「大切な人の健康も一緒に守る」という認識と自覚を高め、地域の健康づくりを進める。		
事業計画時の目標	各地区において、2年度以内に1回は開催する。	目標の達成度	2
達成できなかった理由	例年開催をしている地区が継続して開催している。仕事をしている推進員が多い地区は、活動自体が難しい状況である。		
採用した協働手法	共催	目的達成に対して適切な手法だったか	5
この手法を選んだ理由	地域住民と顔が見える関係性である団体の特性を活かすため。	今回採用した手法よりも有効なもの	現在の手法が最も有効
協働相手(パートナー)の選定は適切だったか	5	市とパートナーの間で、情報交換や意思疎通は円滑に行われたか	4
意思疎通における工夫や課題	理事会を開催し、地区健康教室の企画方法や助成について事務局から説明したり、実施した地区からの実施報告を行った。特に推進員1年目の方には、開催方法が分かりにくいと思うので、イメージしやすいよう説明する必要がある。		

市の役割	講師派遣調整、回覧・チラシ作成、健康相談・講話、予算管理	パートナーの役割	日程調整、会場確保、広報
市の役割の達成度	5	パートナーの役割の達成度	5
達成できなかった理由や改善点	教室での講義内容を、市民の方に興味を持っていただけるような内容にしていきたい。		
役割分担は適切だったか	5	市民と協働したことで、市単独で行った場合と比較してよりよい成果は得られたか	4

パートナーが持つ特性(知識・経験・ネットワークなど)は十分に活かされていたか	5	事業の実施を通じて得られた成果	4回開催、55人参加。全て前年度に開催した地区。
事業全体に対して十分な費用対効果は得られたか	4	費用対効果についての補足	-
協働の視点から特に工夫した点	年度初めの理事会で地区健康教室の実施方法や会から助成があることを紹介し、利用を呼びかけた。第2回の理事会では、開催地区から経験談を紹介していただき、開催のイメージがつきやすいようにした。	次年度以降の改善点や提案	昨年度よりも地区健康相談、健康教室、ウォーキング教室等の実施回数が微増した。事業説明会と同様、コロナ禍前の実施状況に戻していくよう、保健推進員会と連携を図っていきたい。
その他	-		

パートナーの評価

事業全体に対する満足度	4	市の対応に対する満足度	4
上記の回答について、理由や感じたこと	これからも、市民の健康づくりの役に立つように、地区健康教室の内容をご検討いただきたい。		

市民協働事業評価シート

事業名	No.28 沼田まつり		
市 担当課	産業振興課	パートナー	沼田まつり実行委員会

市の評価

事業の目的	沼田まつりは、歴史・伝統・背景・理念を基に、見る人も参加する人も楽しく、郷土文化・郷土愛を育み、明るくすみよい町づくりを目指して開催する。		
事業計画時の目標	来場者数20万人	目標の達成度	5
達成できなかった理由	-		
採用した協働手法	実行委員会・協議会	目的達成に対して適切な手法だったか	4
この手法を選んだ理由	関係者で構成する各部会(神社みこし・まんど・子供みこし・天狗みこし・千人おどり・町みこし)で、前年度の反省点等を踏まえ、行事の運営等に関わる協議を行い実施しているため。	今回採用した手法よりも有効なもの	今回採用した手法が最も有効
協働相手(パートナー)の選定は適切だったか	5	市とパートナーの間で、情報交換や意思疎通は円滑に行われたか	5
意思疎通における工夫や課題	実行委員会、部会、検討委員会を行ったが、様々な観点を持つ実行委員会構成団体の意思統一に苦慮した。		

市の役割	事務局・実務全般	パートナーの役割	まつり運営方法の協議
市の役割の達成度	5	パートナーの役割の達成度	5
達成できなかった理由や改善点	-		
役割分担は適切だったか	5	市民と協働したことで、市単独で行った場合と比較してよりよい成果は得られたか	5

パートナーが持つ特性(知識・経験・ネットワークなど)は十分に活かされていたか	5	事業の実施を通じて得られた成果	来場者数22万人
事業全体に対して十分な費用対効果は得られたか	5	費用対効果についての補足	-
協働の視点から特に工夫した点	-	次年度以降の改善点や提案	まつり実施日時や熱中症対策等について、さらに協議を深めたい。
その他	-		

パートナーの評価

事業全体に対する満足度	5	市の対応に対する満足度	5
上記の回答について、理由や感じたこと	-		

市民協働事業評価シート

事業名	No.29 新規学卒就職者激励親睦のつどい(研修会)		
市 担当課	産業振興課	パートナー	沼田地区労働教育委員会事務局

市の評価

市の評価			
事業の目的	利根沼田地区の事業所へ就職した新規学卒就職者を激励し、相互の親睦を深めることにより、早期離職の防止や地域への定着と貢献を期待し開催する。		
事業計画時の目標	参加者に役に立ったと感じてもらえる研修会の運営	目標の達成度	5
達成できなかった理由	-		
採用した協働手法	共催	目的達成に対して適切な手法だったか	4
この手法を選んだ理由	それぞれの専門性を生かすことができるため。	今回採用した手法よりも有効なもの	今回採用した手法が最も有効
協働相手(パートナー)の選定は適切だったか	4	市とパートナーの間で、情報交換や意思疎通は円滑に行われたか	4
意思疎通における工夫や課題	参加者アンケートを導入し、次年度以降の運営に役立てている。		

市の役割	会場確保、広報、委託金補助	パートナーの役割	企画・運営、講師の手配
市の役割の達成度	4	パートナーの役割の達成度	4
達成できなかった理由や改善点	-		
役割分担は適切だったか	4	市民と協働したことで、市単独で行った場合と比較してよりよい成果は得られたか	5

パートナーが持つ特性(知識・経験・ネットワークなど)は十分に活かされていたか	4	事業の実施を通じて得られた成果	実施回数1回、参加者44名、参加者全員から研修会に参加して役に立ったとのアンケート回答あり。
事業全体に対して十分な費用対効果は得られたか	4	費用対効果についての補足	参加者アンケートを見る限り、費用に対して十分な効果があったと考えられる。
協働の視点から特に工夫した点	-	次年度以降の改善点や提案	-
その他	-		

パートナーの評価

事業全体に対する満足度	4	市の対応に対する満足度	4
上記の回答について、理由や感じたこと	-		

市民協働事業評価シート

事業名	No.30 利根沼田勤労者ソフトボール大会		
市 担当課	産業振興課	パートナー	沼田地区労働教育委員会事務局

市の評価

事業の目的	スポーツを通じて勤労者の体力づくりと親睦を図ることを目的とする。		
事業計画時の目標	10チーム以上の参加	目標の達成度	5
達成できなかった理由	-		
採用した協働手法	共催	目的達成に対して適切な手法だったか	4
この手法を選んだ理由	それぞれの専門性を生かすことができるため。	今回採用した手法よりも有効なもの	今回採用した手法が最も有効
協働相手(パートナー)の選定は適切だったか	4	市とパートナーの間で、情報交換や意思疎通は円滑に行われたか	4
意思疎通における工夫や課題	大会実施前の代表者会議において、前回の反省点等を踏まえ、運営上の協議を行っている。		

市の役割	会場確保、広報、委託金補助	パートナーの役割	企画・運営、審判員の手配
市の役割の達成度	4	パートナーの役割の達成度	4
達成できなかった理由や改善点	-		
役割分担は適切だったか	4	市民と協働したことで、市単独で行った場合と比較してよりよい成果は得られたか	5

パートナーが持つ特性(知識・経験・ネットワークなど)は十分に活かされていたか	4	事業の実施を通じて得られた成果	実施回数1回、参加者12チーム、200名
事業全体に対して十分な費用対効果は得られたか	4	費用対効果についての補足	-
協働の視点から特に工夫した点	-	次年度以降の改善点や提案	-
その他	-		

パートナーの評価

事業全体に対する満足度	4	市の対応に対する満足度	4
上記の回答について、理由や感じたこと	-		

市民協働事業評価シート

事業名	No.31 利根沼田勤労者卓球大会		
市 担当課	産業振興課	パートナー	沼田地区労働教育委員会事務局

市の評価

事業の目的	スポーツを通じて勤労者の親睦と体位の向上を図ることを目的とする。		
事業計画時の目標	10チーム以上の参加	目標の達成度	5
達成できなかった理由	-		
採用した協働手法	共催	目的達成に対して適切な手法だったか	4
この手法を選んだ理由	それぞれの専門性を生かすことができるため。	今回採用した手法よりも有効なもの	今回採用した手法が最も有効
協働相手(パートナー)の選定は適切だったか	4	市とパートナーの間で、情報交換や意思疎通は円滑に行われたか	4
意思疎通における工夫や課題	大会実施前の代表者会議において、前回の反省点等を踏まえ、運営上の協議を行っている。		

市の役割	会場確保、広報、委託金補助	パートナーの役割	企画・運営、審判員の手配
市の役割の達成度	4	パートナーの役割の達成度	4
達成できなかった理由や改善点	-		
役割分担は適切だったか	4	市民と協働したことで、市単独で行った場合と比較してよりよい成果は得られたか	5

パートナーが持つ特性(知識・経験・ネットワークなど)は十分に活かされていたか	4	事業の実施を通じて得られた成果	実施回数1回、参加者10チーム、52名
事業全体に対して十分な費用対効果は得られたか	4	費用対効果についての補足	-
協働の視点から特に工夫した点	-	次年度以降の改善点や提案	-
その他	-		

パートナーの評価

事業全体に対する満足度	4	市の対応に対する満足度	4
上記の回答について、理由や感じたこと	-		

市民協働事業評価シート

事業名	No.32 新規学卒就職者研修会		
市 担当課	産業振興課	パートナー	沼田地区労働教育委員会事務局

市の評価

市の評価			
事業の目的	利根沼田地域の事業所に新たに就職する若者を対象として、社会人に必要な基礎知識を学ぶことで自覚を促し、勤労意欲の向上を図ることを目的とする。		
事業計画時の目標	参加者に役に立ったと感じてもらえる研修会の運営	目標の達成度	5
達成できなかった理由	-		
採用した協働手法	共催	目的達成に対して適切な手法だったか	4
この手法を選んだ理由	それぞれの専門性を生かすことができるため。	今回採用した手法よりも有効なもの	今回採用した手法が最も有効
協働相手(パートナー)の選定は適切だったか	4	市とパートナーの間で、情報交換や意思疎通は円滑に行われたか	4
意思疎通における工夫や課題	参加者アンケートを導入し、次年度以降の運営に役立てている。		

市の役割	会場確保、広報、委託金補助	パートナーの役割	企画・運営、講師の手配
市の役割の達成度	4	パートナーの役割の達成度	4
達成できなかった理由や改善点	-		
役割分担は適切だったか	4	市民と協働したことで、市単独で行った場合と比較してよりよい成果は得られたか	5

パートナーが持つ特性(知識・経験・ネットワークなど)は十分に活かされていたか	4	事業の実施を通じて得られた成果	実施回数1回、参加者29名、参加者28名から研修会に参加して役に立ったとのアンケート回答あり。
事業全体に対して十分な費用対効果は得られたか	4	費用対効果についての補足	参加者アンケートを見る限り、費用に対して十分な効果があったと考えられる。
協働の視点から特に工夫した点	-	次年度以降の改善点や提案	-
その他	-		

パートナーの評価

事業全体に対する満足度	4	市の対応に対する満足度	4
上記の回答について、理由や感じたこと	-		

市民協働事業評価シート

事業名	No.33 児童木工工作大会		
市 担当課	産業振興課	パートナー	沼田木材組合

市の評価

事業の目的	子どもたちに木のぬくもりと有益性を認識してもらう。		
事業計画時の目標	20組・40名の参加	目標の達成度	5
達成できなかった理由	-		
採用した協働手法	補助・助成	目的達成に対して適切な手法だったか	5
この手法を選んだ理由	ノウハウを活かすため。	今回採用した手法よりも有効なもの	今回採用した手法が最も有効
協働相手(パートナー)の選定は適切だったか	5	市とパートナーの間で、情報交換や意思疎通は円滑に行われたか	5
意思疎通における工夫や課題	学校を経由した広報のスケジュールがタイトであった。		

市の役割	広報、会場確保	パートナーの役割	企画、運営、資材手配
市の役割の達成度	5	パートナーの役割の達成度	5
達成できなかった理由や改善点	-		
役割分担は適切だったか	5	市民と協働したことで、市単独で行った場合と比較してよりよい成果は得られたか	5

パートナーが持つ特性(知識・経験・ネットワークなど)は十分に活かされていたか	5	事業の実施を通じて得られた成果	2日間合計25組 69名参加
事業全体に対して十分な費用対効果は得られたか	5	費用対効果についての補足	夏休みの宿題(工作)に活用できるため需要が高い。
協働の視点から特に工夫した点	-	次年度以降の改善点や提案	-
その他	-		

パートナーの評価

事業全体に対する満足度	4	市の対応に対する満足度	5
上記の回答について、理由や感じたこと	来場者にはとても喜んでいただいているが、もう少し来場者が多いと良い。		

市民協働事業評価シート

事業名	No.34 ニューウッド工作広場		
市 担当課	産業振興課	パートナー	利根沼田建築相互組合

市の評価

事業の目的	木工工作を通じて無垢材の温もりを感じてもらい、地元産木材の利用促進と地域の活性化を図る。		
事業計画時の目標	参加者 50名	目標の達成度	5
達成できなかった理由	-		
採用した協働手法	補助・助成	目的達成に対して適切な手法だったか	5
この手法を選んだ理由	地場産業の振興により地域活性化を図るため。当該事業は木工工作を主とすることから、十分なノウハウを有する専門事業者の共同体が担うことが適切であるから。	今回採用した手法よりも有効なもの	今回採用した手法が最も有効
協働相手(パートナー)の選定は適切だったか	5	市とパートナーの間で、情報交換や意思疎通は円滑に行われたか	5
意思疎通における工夫や課題	長年にわたり委託している事業者であるため特に支障無し。		

市の役割	広報、補助交付	パートナーの役割	企画・運営、従事者・必要物品の手配
市の役割の達成度	4	パートナーの役割の達成度	4
達成できなかった理由や改善点	さらに集客が見込める周知方法を検討すべき。		
役割分担は適切だったか	5	市民と協働したことで、市単独で行った場合と比較してよりよい成果は得られたか	5

パートナーが持つ特性(知識・経験・ネットワークなど)は十分に活かされていたか	5	事業の実施を通じて得られた成果	参加者数72人(木工33人、包丁研ぎ39人)
事業全体に対して十分な費用対効果は得られたか	5	費用対効果についての補足	-
協働の視点から特に工夫した点	早期の打合せ実施により、役割分担や補助交付が円滑に行えた。	次年度以降の改善点や提案	集客が見込める事業等の工夫をお願いしたい。
その他	-		

パートナーの評価

事業全体に対する満足度	4	市の対応に対する満足度	4
上記の回答について、理由や感じたこと	子供たちに工作の楽しさを伝えたいです。		

市民協働事業評価シート

事業名	No.35 沼田市産業展示即売会		
市 担当課	産業振興課	パートナー	沼田地区地場産業振興協会

市の評価

事業の目的	本市地場産品の総合展示即売会を通じて、市内外に宣伝紹介を行い販路拡大を図るとともに、産業振興に寄与する。		
事業計画時の目標	参加事業者数60者、参加者数 20,000人	目標の達成度	5
達成できなかった理由	-		
採用した協働手法	実行委員会・協議会	目的達成に対して適切な手法だったか	5
この手法を選んだ理由	参加事業者でもある構成団体からの委員による運営委員会によりノウハウを最大限に活かすため。	今回採用した手法よりも有効なもの	今回採用した手法が最も有効
協働相手(パートナー)の選定は適切だったか	5	市とパートナーの間で、情報交換や意思疎通は円滑に行われたか	5
意思疎通における工夫や課題	運営委員会の回数を重ね、役員と市事務局が意見交換しながら事業を進めた。		

市の役割	予算管理、会場確保、広報、事務処理、運営補助	パートナーの役割	企画、運営
市の役割の達成度	5	パートナーの役割の達成度	4
達成できなかった理由や改善点	会議に参集者が少なく、多くの役員の意見を取り入れられなかった。		
役割分担は適切だったか	5	市民と協働したことで、市単独で行った場合と比較してよりよい成果は得られたか	5

パートナーが持つ特性(知識・経験・ネットワークなど)は十分に活かされていたか	5	事業の実施を通じて得られた成果	参加事業者数65者、参加者数22,000人
事業全体に対して十分な費用対効果は得られたか	5	費用対効果についての補足	-
協働の視点から特に工夫した点	役員が当日のイベント運営・準備・片付けまで携わり、それぞれが自分ごととしてとらえるようになった。	次年度以降の改善点や提案	出展者の募集対象やイベントなど、毎年度時代のニーズに合った物を検討・協議している。
その他	-		

パートナーの評価

事業全体に対する満足度	5	市の対応に対する満足度	5
上記の回答について、理由や感じたこと	市・会議所共に連携がとれている。もう少し出展者・当日の人手を増やしたい。		

市民協働事業評価シート

事業名	No.36 沼田市農業まつり		
市 担当課	農林課	パートナー	利根沼田農業協同組合沼田支店

市の評価

事業の目的	収穫の喜びを農家と地域の人たちとが、共に分かち合い多彩なイベントを通じて交流を深めるほか、生産者と消費者の連携、地域農業の振興と地域の健全な発展に寄与することを目的とする。		
事業計画時の目標	来場者 4,000人	目標の達成度	5
達成できなかった理由	-		
採用した協働手法	共催	目的達成に対して適切な手法だったか	5
この手法を選んだ理由	共催で沼田市農業まつり実施することにより成果を共有できるから。	今回採用した手法よりも有効なもの	現在の手法が最も有効
協働相手(パートナー)の選定は適切だったか	5	市とパートナーの間で、情報交換や意思疎通は円滑に行われたか	5
意思疎通における工夫や課題	-		

市の役割	駐車場の確保、広報	パートナーの役割	企画・運営、予算管理
市の役割の達成度	5	パートナーの役割の達成度	5
達成できなかった理由や改善点	-		
役割分担は適切だったか	5	市民と協働したことで、市単独で行った場合と比較してよりよい成果は得られたか	5

パートナーが持つ特性(知識・経験・ネットワークなど)は十分に活かされていたか	5	事業の実施を通じて得られた成果	来場者 約5,000人
事業全体に対して十分な費用対効果は得られたか	5	費用対効果についての補足	経費節減の検討は引き続き行う必要がある。
協働の視点から特に工夫した点	地域団体・農協・農業委員会・市が運営委員会で事業内容を検討	次年度以降の改善点や提案	経費節減の検討は引き続き行う必要がある。
その他	農家と消費者の交流が図られ、農家の育てた安心・安全な農作物を直接消費者に販売し、地産・地消運動の実践ができ、農家への理解と信頼を深めることができた。		

パートナーの評価

事業全体に対する満足度	5	市の対応に対する満足度	5
上記の回答について、理由や感じたこと	-		

市民協働事業評価シート

事業名	No.37 認定農業者協議会活動支援事業		
市 担当課	農林課	パートナー	沼田市認定農業者協議会

市の評価

事業の目的	担い手の育成と地域農業の発展		
事業計画時の目標	-	目標の達成度	3
達成できなかった理由	協議会内で目的・目標の共有が十分にできていないため。		
採用した協働手法	実行委員会・協議会	目的達成に対して適切な手法だったか	5
この手法を選んだ理由	農業に関する知識が必要なため。	今回採用した手法よりも有効なもの	情報提供・情報交換
協働相手(パートナー)の選定は適切だったか	5	市とパートナーの間で、情報交換や意思疎通は円滑に行われたか	3
意思疎通における工夫や課題	各会議の出席者が少ない。		

市の役割	会場確保、各種調整	パートナーの役割	企画運営
市の役割の達成度	3	パートナーの役割の達成度	3
達成できなかった理由や改善点	協議会としての具体的な目的を整理し、双方の役割を明確にする。		
役割分担は適切だったか	3	市民と協働したことで、市単独で行った場合と比較してよりよい成果は得られたか	4

パートナーが持つ特性(知識・経験・ネットワークなど)は十分に活かされていたか	3	事業の実施を通じて得られた成果	イベント4回開催
事業全体に対して十分な費用対効果は得られたか	3	費用対効果についての補足	-
協働の視点から特に工夫した点	市の主導にならないよう、役員の意見を尊重した。	次年度以降の改善点や提案	役員の意見だけでなく、市が進めたい方向を明確にする。
その他	市役所内部だけでは分からぬことを教えてもらえるので、そのような事項を日頃の運営の中で活かしていきたい。		

パートナーの評価

事業全体に対する満足度	5	市の対応に対する満足度	5
上記の回答について、理由や感じたこと	-		

市民協働事業評価シート

事業名	No.38 生活研究グループ活動支援事業		
市 担当課	農林課	パートナー	沼田市生活研究グループ

市の評価

事業の目的	農村女性等により組織される同会が行う研修会などの活動費に対して支援し、地域農業の多様な担い手の育成と地域の生活向上を図ることを目的とする。		
事業計画時の目標	農業まつり参加(手作り品プレゼント)、食と農を育み伝えます活動(多那地区小中学生対象の食育料理教室)1回開催	目標の達成度	5
達成できなかった理由	-		
採用した協働手法	補助・助成	目的達成に対して適切な手法だったか	5
この手法を選んだ理由	実施主体の自主性、自立性を促すため。	今回採用した手法よりも有効なもの	現在の手法が最も有効
協働相手(パートナー)の選定は適切だったか	5	市とパートナーの間で、情報交換や意思疎通は円滑に行われたか	5
意思疎通における工夫や課題	会長が会員の意見や日程調整等を取りまとめて円滑に意思疎通を図ることができた。		

市の役割	会場確保、文書事務(会議等の開催通知、議事録作成等)	パートナーの役割	企画・運営、予算管理
市の役割の達成度	5	パートナーの役割の達成度	5
達成できなかった理由や改善点	-		
役割分担は適切だったか	5	市民と協働したことで、市単独で行った場合と比較してよりよい成果は得られたか	5

パートナーが持つ特性(知識・経験・ネットワークなど)は十分に活かされていたか	5	事業の実施を通じて得られた成果	○食育料理教室 開催1回、参加人数 24名(多那地区小中学生・園児・保護者) ○農業まつり手作り品プレゼント (葉牡丹300鉢・巾着袋164枚)
事業全体に対して十分な費用対効果は得られたか	5	費用対効果についての補足	コロナ禍以降活動が縮小したことで以前より補助が減額されている。今後も事業の内容を精査し、適切な補助金額を検討したい。
協働の視点から特に工夫した点	市民主導型であるため、企画運営は実施主体が中心となるが、関係団体等との調整など問題が発生しないよう、隨時進捗等を情報共有することで円滑な事業遂行を心がけた。	次年度以降の改善点や提案	会員の高齢化、新規会員の獲得が課題となっている。
その他	-		

パートナーの評価

事業全体に対する満足度	5	市の対応に対する満足度	5
上記の回答について、理由や感じたこと	-		

市民協働事業評価シート

事業名	No.39 地域農政推進委員会支援事業		
市 担当課	農林課	パートナー	沼田地区地域農政推進委員会

市の評価

事業の目的	地域住民の自主的な創意と工夫とを活かし、地域に立脚した農政を総合的、計画的に推進するため、各地区地域農政推進委員会の活動に対する補助を目的とする。		
事業計画時の目標	8地区の実情に応じた農業振興施策の実施	目標の達成度	5
達成できなかった理由	-		
採用した協働手法	補助・助成	目的達成に対して適切な手法だったか	5
この手法を選んだ理由	地域の実情を知る団体の自主性、自立性を促すため。	今回採用した手法よりも有効なもの	現在の手法が最も有効
協働相手(パートナー)の選定は適切だったか	5	市とパートナーの間で、情報交換や意思疎通は円滑に行われたか	5
意思疎通における工夫や課題	事業実施後に意見交換を行っている。		

市の役割	活動に対する助言	パートナーの役割	地域特性の農業振興施策の掘り起こし
市の役割の達成度	5	パートナーの役割の達成度	5
達成できなかった理由や改善点	-		
役割分担は適切だったか	5	市民と協働したことで、市単独で行った場合と比較してよりよい成果は得られたか	5

パートナーが持つ特性(知識・経験・ネットワークなど)は十分に活かされていたか	5	事業の実施を通じて得られた成果	食育活動・有害鳥獣対策・栽培技術研修・土壤診断・座談会開催など
事業全体に対して十分な費用対効果は得られたか	5	費用対効果についての補足	事業内容について共通認識をもって取り組みたい。
協働の視点から特に工夫した点	各団体の主体性を尊重した。	次年度以降の改善点や提案	事業内容の見直しや経費節減の検討は引き続き行う必要がある。
その他	事業内容について共通認識をもって取り組みたい。		

パートナーの評価

事業全体に対する満足度	5	市の対応に対する満足度	5
上記の回答について、理由や感じたこと	-		

市民協働事業評価シート

事業名	No.40 交流居住促進事業		
市 担当課	観光交流課	パートナー	沼田市交流居住促進協議会

市の評価

事業の目的	交流事業は人同士の結びつきが重要であることから、各団体の協働による沼田市のPRや受け入れ体制の構築を目的とする。		
事業計画時の目標	-	目標の達成度	4
達成できなかった理由	参加者不足による中止等があったため。		
採用した協働手法	共催	目的達成に対して適切な手法だったか	5
この手法を選んだ理由	パートナーの専門的な知識技術が生かせるから。	今回採用した手法よりも有効なもの	共催
協働相手(パートナー)の選定は適切だったか	5	市とパートナーの間で、情報交換や意思疎通は円滑に行われたか	5
意思疎通における工夫や課題	-		

市の役割	予算管理、広報、調整	パートナーの役割	物品の提供、運営、専門知識の提供
市の役割の達成度	5	パートナーの役割の達成度	5
達成できなかった理由や改善点	-		
役割分担は適切だったか	5	市民と協働したことで、市単独で行った場合と比較してよりよい成果は得られたか	5

パートナーが持つ特性(知識・経験・ネットワークなど)は十分に活かされていたか	5	事業の実施を通じて得られた成果	都市部との交流、移住希望者との交流
事業全体に対して十分な費用対効果は得られたか	5	費用対効果についての補足	-
協働の視点から特に工夫した点	なるべく多くのパートナーに参加いただけるように調整を行った。	次年度以降の改善点や提案	今後も引き続き組織や事業の見直し、検討を行い、成果を上げていきたい。
その他	都市間交流事業では、協定を締結している新宿区、板橋区、港区などと交流を継続、一定の成果は上げた。移住・定住では、トライアルハウスの整備、移住コンシェルジュ、地域おこし協力隊による面談やオンライン面談などを実施。その他にもウェブでの情報発信を行った。		

パートナーの評価

事業全体に対する満足度	5	市の対応に対する満足度	5
上記の回答について、理由や感じたこと	-		

市民協働事業評価シート

事業名	No.41 観光ボランティアガイド		
市 担当課	観光交流課	パートナー	沼田市観光ガイド協会

市の評価

事業の目的	市民の知識を活用し、本市を訪れた観光客に観光案内を行う事により、本市の歴史や文化など魅力をアピールすることを目的とする。		
事業計画時の目標	参加者数10名、全12回開催	目標の達成度	5
達成できなかった理由	-		
採用した協働手法	委託	目的達成に対して適切な手法だったか	5
この手法を選んだ理由	歴史文化に精通した団体であるため。	今回採用した手法よりも有効なもの	現在の手法が最も有効
協働相手(パートナー)の選定は適切だったか	4	市とパートナーの間で、情報交換や意思疎通は円滑に行われたか	4
意思疎通における工夫や課題	沼田市観光協会が管理している団体であるため、協会職員から情報共有をしている。		

市の役割	会場確保	パートナーの役割	ガイドの手配、ガイドの知識習得のための勉強会開催
市の役割の達成度	5	パートナーの役割の達成度	5
達成できなかった理由や改善点	ガイドへ交付する委嘱状の交付者を誰にするかでトラブルになることがあるため、ガイド協会の規約を見直しして欲しい。		
役割分担は適切だったか	5	市民と協働したことで、市単独で行った場合と比較してよりよい成果は得られたか	5

パートナーが持つ特性(知識・経験・ネットワークなど)は十分に活かされていたか	5	事業の実施を通じて得られた成果	イベントやツアーの歴史ガイド対応をしてもらっている。ガイド件数106件、案内人数537名
事業全体に対して十分な費用対効果は得られたか	4	費用対効果についての補足	-
協働の視点から特に工夫した点	-	次年度以降の改善点や提案	高齢化が進んでいるので、若いメンバー加入を検討すべき。
その他	高齢のメンバーが多いためか、市長から委嘱を受けることに固執している傾向が強い。		

パートナーの評価

事業全体に対する満足度	3	市の対応に対する満足度	3
上記の回答について、理由や感じたこと	-		

市民協働事業評価シート

事業名	No.42 沼田市観光協会事業		
市 担当課	観光交流課	パートナー	一般社団法人沼田市観光協会

市の評価

事業の目的	観光情報の発信とともに、県内外から訪れる観光客に対し、細やかな情報提供を行うとともに、沼田市観光協会と協働して誘客の増加を図る。		
事業計画時の目標	各種観光関係機関との連絡・調整を行い、最新情報を観光客に提供する。	目標の達成度	5
達成できなかった理由	-		
採用した協働手法	委託	目的達成に対して適切な手法だったか	5
この手法を選んだ理由	観光情報に精通した職員が多くいるため。	今回採用した手法よりも有効なもの	現在の手法が最も有効
協働相手(パートナー)の選定は適切だったか	3	市とパートナーの間で、情報交換や意思疎通は円滑に行われたか	3
意思疎通における工夫や課題	案内所での情報発信が強く、外部に出て営業やPRをする力が乏しいように思える。		

市の役割	観光PRや各種案内等の協力要請	パートナーの役割	観光情報発信の実行
市の役割の達成度	4	パートナーの役割の達成度	3
達成できなかった理由や改善点	観光協会にもう少し積極的にPR活動を行って欲しかった。		
役割分担は適切だったか	3	市民と協働したことで、市単独で行った場合と比較してよりよい成果は得られたか	4

パートナーが持つ特性(知識・経験・ネットワークなど)は十分に活かされていたか	4	事業の実施を通じて得られた成果	各種イベントに共同で参加。10名、上映会、ツーリズムEXPO等
事業全体に対して十分な費用対効果は得られたか	3	費用対効果についての補足	人員確保が出来ておらず、外部へのPR活動が弱い。
協働の視点から特に工夫した点	報告、連絡、相談を行うため月に1回打合せを実施	次年度以降の改善点や提案	物産販売イベントやエージェント訪問への協力回数を増やしてもらう。
その他	常に情報共有をして観光情報発信を進めていくことが重要。		

パートナーの評価

事業全体に対する満足度	3	市の対応に対する満足度	3
上記の回答について、理由や感じたこと	-		

市民協働事業評価シート

事業名	No.43 白沢農産物収穫感謝祭		
市 担当課	観光交流課	パートナー	(株)白沢振興公社

市の評価

事業の目的	利根・沼田産の野菜果物を多くの人に知っていただき、同地域への来客を促し地域経済(第一次産業)の活性化の一助となりたい。また来訪者と生産者の繋がりを持つことで「安心・安全でしかも美味しい」地域ブランドの確立を図りたい。		
事業計画時の目標	全1回開催	目標の達成度	5
達成できなかった理由	-		
採用した協働手法	補助・助成	目的達成に対して適切な手法だったか	3
この手法を選んだ理由	白沢農産物直売所の運営を行っている事業者であり、地域に精通していることからそのノウハウを生かすため。	今回採用した手法よりも有効なもの	情報提供・情報交換
協働相手(パートナー)の選定は適切だったか	5	市とパートナーの間で、情報交換や意思疎通は円滑に行われたか	5
意思疎通における工夫や課題	-		

市の役割	補助金に係る事務	パートナーの役割	企画・運営
市の役割の達成度	5	パートナーの役割の達成度	5
達成できなかった理由や改善点	-		
役割分担は適切だったか	5	市民と協働したことで、市単独で行った場合と比較してよりよい成果は得られたか	3

パートナーが持つ特性(知識・経験・ネットワークなど)は十分に活かされていたか	5	事業の実施を通じて得られた成果	全1回開催
事業全体に対して十分な費用対効果は得られたか	5	費用対効果についての補足	-
協働の視点から特に工夫した点	-	次年度以降の改善点や提案	-
その他	-		

パートナーの評価

事業全体に対する満足度	5	市の対応に対する満足度	5
上記の回答について、理由や感じたこと	-		

市民協働事業評価シート

事業名	No.44 吹割の滝開き・無事故安全祈願祭		
市 担当課	観光交流課	パートナー	利根町観光協会 事務局

市の評価

事業の目的	シーズンの開幕を祝うとともに、一年の無事故安全を祈願し、観光客の誘客を図る。		
事業計画時の目標	全1回開催	目標の達成度	5
達成できなかった理由	-		
採用した協働手法	委託	目的達成に対して適切な手法だったか	3
この手法を選んだ理由	パートナーの経験を生かして、より効果的な取り組みができる。	今回採用した手法よりも有効なもの	現在の手法が最も有効
協働相手(パートナー)の選定は適切だったか	3	市とパートナーの間で、情報交換や意思疎通は円滑に行われたか	3
意思疎通における工夫や課題	電話が主な連絡手段であるが、日中はそれぞれ仕事をしており、連絡が夜間になることが多い。		

市の役割	施設の安全管理	パートナーの役割	企画・運営・神官の手配
市の役割の達成度	3	パートナーの役割の達成度	3
達成できなかった理由や改善点	-		
役割分担は適切だったか	3	市民と協働したことで、市単独で行った場合と比較してよりよい成果は得られたか	3

パートナーが持つ特性(知識・経験・ネットワークなど)は十分に活かされていたか	3	事業の実施を通じて得られた成果	参加者約80名(招待者43名、関係者(市・パートナー等)14名、報道関係者5名、招待なし参加者等)
事業全体に対して十分な費用対効果は得られたか	3	費用対効果についての補足	安全祈願が主目的であり波及効果の有無を計るのは困難
協働の視点から特に工夫した点	-	次年度以降の改善点や提案	-
その他	観光協会関係者の事業に対する自主性・自立性等の意識は窺えるが、会員の高齢化が進んでおり、滝開き・無事故安全祈願祭を執行できる後継者の確保が心配される。		

パートナーの評価

事業全体に対する満足度	3	市の対応に対する満足度	3
上記の回答について、理由や感じたこと	-		

市民協働事業評価シート

事業名	No.45 とねふるさと風のまつり		
市 担当課	観光交流課	パートナー	利根町観光協会 事務局

市の評価

事業の目的	地域住民参加型の手づくりイベントとして、利根町地域の活性化と振興を図るとともに、観光客の誘致につなげる。		
事業計画時の目標	全1回開催	目標の達成度	5
達成できなかった理由	-		
採用した協働手法	補助・助成	目的達成に対して適切な手法だったか	3
この手法を選んだ理由	パートナーの自主性、自立性を尊重するため。	今回採用した手法よりも有効なもの	現在の手法が最も有効
協働相手(パートナー)の選定は適切だったか	3	市とパートナーの間で、情報交換や意思疎通は円滑に行われたか	3
意思疎通における工夫や課題	コロナ禍により5年振りの開催となり、初めてこのイベントに携わった関係者も多く、意思疎通が難しかった。		

市の役割	予算措置・会場確保	パートナーの役割	企画・運営
市の役割の達成度	3	パートナーの役割の達成度	3
達成できなかった理由や改善点	-		
役割分担は適切だったか	3	市民と協働したことで、市単独で行った場合と比較してよりよい成果は得られたか	3

パートナーが持つ特性(知識・経験・ネットワークなど)は十分に活かされていたか	3	事業の実施を通じて得られた成果	来場者(会場外からの観覧者含む)推計11,500人(風のまつり2,500人・花火大会9,000人)
事業全体に対して十分な費用対効果は得られたか	3	費用対効果についての補足	-
協働の視点から特に工夫した点	-	次年度以降の改善点や提案	-
その他	事業運営に必要となる人員確保についてはそれぞれの団体に責任をもっていただいているが、祭り自体を成功させるには、更なる関係団体との連携の強化が必要である。		

パートナーの評価

事業全体に対する満足度	3	市の対応に対する満足度	3
上記の回答について、理由や感じたこと	-		

市民協働事業評価シート

事業名	No.46 老神温泉赤城神社節分祭		
市 担当課	観光交流課	パートナー	老神温泉観光協会 事務局

市の評価

事業の目的	老神赤城神社を観光資源としてとらえ、有効に活用すべく、冬季イベントとしての位置づけを図りながら、誘客の一助として観光と地域の振興を推進する。		
事業計画時の目標	全1回	目標の達成度	5
達成できなかった理由	-		
採用した協働手法	補助・助成	目的達成に対して適切な手法だったか	3
この手法を選んだ理由	パートナーの自主性、自立性を尊重するため。	今回採用した手法よりも有効なもの	現在の手法が最も有効
協働相手(パートナー)の選定は適切だったか	3	市とパートナーの間で、情報交換や意思疎通は円滑に行われたか	3
意思疎通における工夫や課題	-		

市の役割	予算措置	パートナーの役割	企画・運営
市の役割の達成度	3	パートナーの役割の達成度	3
達成できなかった理由や改善点	-		
役割分担は適切だったか	3	市民と協働したことで、市単独で行った場合と比較してよりよい成果は得られたか	3

パートナーが持つ特性(知識・経験・ネットワークなど)は十分に活かされていたか	3	事業の実施を通じて得られた成果	来場者・関係者 合計 約2,200人
事業全体に対して十分な費用対効果は得られたか	3	費用対効果についての補足	-
協働の視点から特に工夫した点	-	次年度以降の改善点や提案	-
その他	事業運営に必要となる人員確保についてはそれぞれの団体に責任をもっていただいているが、祭り自体を成功させるには、更なる関係団体との連携の強化が必要である。		

パートナーの評価

事業全体に対する満足度	3	市の対応に対する満足度	3
上記の回答について、理由や感じたこと	-		

市民協働事業評価シート

事業名	No.47 公園管理事業		
市 担当課	都市計画課	パートナー	薄根町区 他10団体

市の評価

事業の目的	維持管理の一部を利用主体である地元町区等に担つてもらうため。		
事業計画時の目標	1年を通して、毎月4回(毎週1回)程度のトイレ清掃及び園内清掃の実施	目標の達成度	5
達成できなかった理由	-		
採用した協働手法	事業協力・協定	目的達成に対して適切な手法だったか	5
この手法を選んだ理由	団体等自ら、年間を通じての清掃作業や利活用計画について、企画運営していくことで、利活用の向上、防犯、管理経費の軽減等が図られるため。	今回採用した手法よりも有効なもの	現在の手法が最も有効
協働相手(パートナー)の選定は適切だったか	5	市とパートナーの間で、情報交換や意思疎通は円滑に行われたか	5
意思疎通における工夫や課題	緊急時の連絡先を携帯電話番号で報告してもらい、常に意思疎通が計れるようにした。		

市の役割	予算配布、施設全体の維持管理、利用に関する助言	パートナーの役割	日常における施設の清掃・点検及び異状発生時の報告、公園利用に関する企画・運営
市の役割の達成度	5	パートナーの役割の達成度	5
達成できなかった理由や改善点	-		
役割分担は適切だったか	5	市民と協働したことで、市単独で行った場合と比較してよりよい成果は得られたか	5

パートナーが持つ特性(知識・経験・ネットワークなど)は十分に活かされていたか	5	事業の実施を通じて得られた成果	年間を通じて毎週1回以上の施設の清掃及び点検を実施
事業全体に対して十分な費用対効果は得られたか	5	費用対効果についての補足	-
協働の視点から特に工夫した点	-	次年度以降の改善点や提案	-
その他	公園運営委員等の高齢化が進み世代交代が急務な団体も存在するため今後の事業の継続が不安。		

パートナーの評価

事業全体に対する満足度	5	市の対応に対する満足度	5
上記の回答について、理由や感じたこと	地域で公園の企画運営をする事で、利用団体や利用時間等を適切に把握し、効率的な公園管理が図れた。		

市民協働事業評価シート

事業名	No.48 市民緑化推進事業		
市 担当課	都市計画課	パートナー	虹の花畠 他12団体

市の評価

事業の目的			
都市緑化の推進を図る。			
事業計画時の目標	参加団体数15件(参加人数約70名以上)	目標の達成度	5
達成できなかった理由	-		
採用した協働手法	補助・助成	目的達成に対して適切な手法だったか	5
この手法を選んだ理由	緑豊かなまちづくりの推進を図る。	今回採用した手法よりも有効なもの	現在の手法が最も有効
協働相手(パートナー)の選定は適切だったか	5	市とパートナーの間で、情報交換や意思疎通は円滑に行われたか	5
意思疎通における工夫や課題	緊急時の連絡先を携帯電話番号で報告してもらい、常に意思疎通が計れるようにした。		

市の役割	予算配布、場所情報及び活動内容等の助言	パートナーの役割	事業の実施計画書及び完了報告書の作成、緑化活動の実施
市の役割の達成度	5	パートナーの役割の達成度	5
達成できなかった理由や改善点	-		
役割分担は適切だったか	5	市民と協働したことで、市単独で行った場合と比較してよりよい成果は得られたか	5

パートナーが持つ特性(知識・経験・ネットワークなど)は十分に活かされていたか	5	事業の実施を通じて得られた成果	参加団体:13団体(参加人数100名以上)
事業全体に対して十分な費用対効果は得られたか	5	費用対効果についての補足	-
協働の視点から特に工夫した点	-	次年度以降の改善点や提案	-
その他	緑と花のあるまちづくり事業については、毎年多くの参加団体があるが、生け垣奨励事業はR6年度は1件しかなく、壁面等緑化奨励事業については、対象地域が限定されているため、近年ではほとんど申請が無い状況である。		

パートナーの評価

事業全体に対する満足度	5	市の対応に対する満足度	5
上記の回答について、理由や感じたこと	道路沿線等を緑化する事により、生活環境の向上が図られた。		

市民協働事業評価シート

事業名	No.49 中心市街地活性化の会補助事業		
市 担当課	都市計画課	パートナー	沼田市中心市街地活性化の会

市の評価

事業の目的			
中心市街地の活性化により地域の振興及び秩序ある整備を図り、市民生活の向上及び地域経済の健全な発展に寄与することを目的とする。			
事業計画時の目標			
沼田市中心市街地の活性化及び土地区画整理事業の推進			
目標の達成度			
5			
達成できなかった理由			
市は土地区画整理事業の進展、パートナーは街づくりを主体に考えがちなため、常に双方の調整を図る必要がある。			
採用した協働手法			
補助・助成			
目的達成に対して適切な手法だったか			
5			
この手法を選んだ理由			
中心市街地の活性化は行政主体だけでは成立しないため。			
今回採用した手法よりも有効なもの			
現在の手法が最も有効			
協働相手(パートナー)の選定は適切だったか			
4			
市とパートナーの間で、情報交換や意思疎通は円滑に行われたか			
5			
意思疎通における工夫や課題			
月例の会議、各種会議等に市職員が参加し、情報の共有に努めている。			

市の役割	意見聴取、連絡調整	パートナーの役割	組織運営、意見集約、研修・懇談会等対応
市の役割の達成度	3	パートナーの役割の達成度	5
達成できなかった理由や改善点			
改善点として活動組織の高齢化が顕著になってきており、土地区画整理事業は早期の完成を図らなければならない。また、街づくりの観点から組織の世代交代を促す必要がある。			
役割分担は適切だったか	5	市民と協働したことで、市単独で行った場合と比較してよりよい成果は得られたか	5

パートナーが持つ特性(知識・経験・ネットワークなど)は十分に活かされていたか	5	事業の実施を通じて得られた成果	会議開催10回、研修視察1回、1開催当たり平均出席者数15名
事業全体に対して十分な費用対効果は得られたか	4	費用対効果についての補足	-
協働の視点から特に工夫した点	地区の年間行事等に可能な範囲で参加するよう心がけてきた。	次年度以降の改善点や提案	近年、活動組織の構成員の高齢化が進んでいるが、当面は現状維持で活動を継続させなければならない。
その他	現在、土地区画整理事業を優先した市の予算配分となっているが、それが街づくりへの市の消極性と一部の関係者には捉えられているようである。		

パートナーの評価

事業全体に対する満足度	5	市の対応に対する満足度	5
上記の回答について、理由や感じたこと	中町の土地区画整理事業においてようやく意見集約の見込みが立ち、これによって街づくりの議論にも勢いが付くことを期待している。		

市民協働事業評価シート

事業名	No.50 沼田市文化祭開催事業		
市 担当課	生涯学習課	パートナー	沼田市文化祭実行委員会

市の評価

事業の目的	文化活動の発表する機会を設けることにより、生涯学習意欲の向上及び芸術・文化団体の活性化を図り、併せて沼田市の芸術文化の振興を図る。		
事業計画時の目標	来場者 4,500名	目標の達成度	3
達成できなかった理由	-		
採用した協働手法	委託	目的達成に対して適切な手法だったか	5
この手法を選んだ理由	会員相互の交流と生涯学習意欲の向上が図れるため。	今回採用した手法よりも有効なもの	現在の手法が最も有効
協働相手(パートナー)の選定は適切だったか	5	市とパートナーの間で、情報交換や意思疎通は円滑に行われたか	5
意思疎通における工夫や課題	企画委員会を1回、実行委員会を2回開催した。		

市の役割	予算管理、会場確保、広報	パートナーの役割	企画・運営
市の役割の達成度	5	パートナーの役割の達成度	5
達成できなかった理由や改善点	-		
役割分担は適切だったか	5	市民と協働したことで、市単独で行った場合と比較してよりよい成果は得られたか	5

パートナーが持つ特性(知識・経験・ネットワークなど)は十分に活かされていたか	5	事業の実施を通じて得られた成果	来場者 5,226名、参加者 1,137名
事業全体に対して十分な費用対効果は得られたか	4	費用対効果についての補足	-
協働の視点から特に工夫した点	-	次年度以降の改善点や提案	-
その他	-		

パートナーの評価

事業全体に対する満足度	5	市の対応に対する満足度	5
上記の回答について、理由や感じたこと	-		

市民協働事業評価シート

事業名	No.51 青少年健全育成推進モデル地区開催委託事業		
市 担当課	生涯学習課	パートナー	沼田地区青少年育成連絡協議会

市の評価

事業の目的	上毛かるたを通じて地域の子ども会が一堂に集い、郷土群馬の知識を習得するとともに、郷土愛を育むことにより、子ども会活動の活性化を推進する。		
事業計画時の目標	参加者数100名	目標の達成度	5
達成できなかった理由	-		
採用した協働手法	委託	目的達成に対して適切な手法だったか	5
この手法を選んだ理由	青少年健全育成において、長年の実績と経験があり、効果的な事業実施が見込まれる団体のため。	今回採用した手法よりも有効なもの	現在の手法が最も有効
協働相手(パートナー)の選定は適切だったか	5	市とパートナーの間で、情報交換や意思疎通は円滑に行われたか	5
意思疎通における工夫や課題	関係資料等を用いて、適宜、連絡調整・打合せを実施した。		

市の役割	予算管理、会場確保等	パートナーの役割	運営、連絡調整
市の役割の達成度	5	パートナーの役割の達成度	5
達成できなかった理由や改善点	-		
役割分担は適切だったか	5	市民と協働したことで、市単独で行った場合と比較してよりよい成果は得られたか	5

パートナーが持つ特性(知識・経験・ネットワークなど)は十分に活かされていたか	5	事業の実施を通じて得られた成果	参加者数164人
事業全体に対して十分な費用対効果は得られたか	5	費用対効果についての補足	-
協働の視点から特に工夫した点	団体との連絡調整を密にし、協力関係を構築した。	次年度以降の改善点や提案	引き続き、円滑な事業実施に努めたい。
その他	-		

パートナーの評価

事業全体に対する満足度	5	市の対応に対する満足度	5
上記の回答について、理由や感じたこと	当初の目的に沿って、適切に事業が実施できた。		

市民協働事業評価シート

事業名	No.52 子ども会ボランティア活動開催委託事業		
市 担当課	生涯学習課	パートナー	沼田市青少年育成連絡協議会

市の評価

事業の目的	各地域の子ども会単位で、清掃活動等のボランティア活動を実施することにより、ボランティア精神の養成と子ども会会員相互の親睦を図る。		
事業計画時の目標	全2回開催	目標の達成度	5
達成できなかった理由	-		
採用した協働手法	委託	目的達成に対して適切な手法だったか	5
この手法を選んだ理由	子ども会の構成団体のため。	今回採用した手法よりも有効なもの	現在の手法が最も有効
協働相手(パートナー)の選定は適切だったか	5	市とパートナーの間で、情報交換や意思疎通は円滑に行われたか	5
意思疎通における工夫や課題	-		

市の役割	予算管理、周知	パートナーの役割	企画・運営
市の役割の達成度	5	パートナーの役割の達成度	5
達成できなかった理由や改善点	-		
役割分担は適切だったか	5	市民と協働したことで、市単独で行った場合と比較してよりよい成果は得られたか	5

パートナーが持つ特性(知識・経験・ネットワークなど)は十分に活かされていたか	5	事業の実施を通じて得られた成果	2回実施
事業全体に対して十分な費用対効果は得られたか	5	費用対効果についての補足	-
協働の視点から特に工夫した点	-	次年度以降の改善点や提案	-
その他	-		

パートナーの評価

事業全体に対する満足度	5	市の対応に対する満足度	5
上記の回答について、理由や感じたこと	-		

市民協働事業評価シート

事業名	No.53 青少年育成大会開催委託事業		
市 担当課	生涯学習課	パートナー	沼田市青少年育成連絡協議会

市の評価

市の評価			
事業の目的	青少年育成関係者が一堂に会し、青少年健全育成に関する現下の諸課題について研修会を行い、地域における活動の進め方等を理解するとともに、資質の向上を図る。		
事業計画時の目標	参加者数30名程度	目標の達成度	5
達成できなかった理由	-		
採用した協働手法	委託	目的達成に対して適切な手法だったか	5
この手法を選んだ理由	青少年健全育成において、長年の実績と経験があり、効果的な事業実施が見込まれる団体のため。	今回採用した手法よりも有効なもの	現在の手法が最も有効
協働相手(パートナー)の選定は適切だったか	5	市とパートナーの間で、情報交換や意思疎通は円滑に行われたか	5
意思疎通における工夫や課題	関係資料等を用いて、適宜、連絡調整・打合せを実施した。		

市の役割	予算管理、会場確保等	パートナーの役割	運営、連絡調整
市の役割の達成度	5	パートナーの役割の達成度	5
達成できなかった理由や改善点	-		
役割分担は適切だったか	5	市民と協働したことで、市単独で行った場合と比較してよりよい成果は得られたか	5

パートナーが持つ特性(知識・経験・ネットワークなど)は十分に活かされていたか	5	事業の実施を通じて得られた成果	目標値を超える37名の参加があった。
事業全体に対して十分な費用対効果は得られたか	5	費用対効果についての補足	-
協働の視点から特に工夫した点	団体との連絡調整を密にし、協力関係を構築した。	次年度以降の改善点や提案	引き続き、円滑な事業実施に努めたい。
その他	-		

パートナーの評価

事業全体に対する満足度	5	市の対応に対する満足度	5
上記の回答について、理由や感じたこと	当初の目的に沿って、適切に事業が実施できた。		

市民協働事業評価シート

事業名	No.54 子ども会行事開催委託事業		
市 担当課	生涯学習課	パートナー	沼田市青少年育成連絡協議会

市の評価

事業の目的	各子ども会において、沼田かるた、上毛かるた大会を開催することにより、会員相互の親睦を図るとともに、郷土の知識の習得と郷土愛を育む。		
事業計画時の目標	沼田かるた大会参加者:100名、上毛かるた大会参加者:130名	目標の達成度	5
達成できなかった理由	-		
採用した協働手法	委託	目的達成に対して適切な手法だったか	5
この手法を選んだ理由	青少年健全育成において、長年の実績と経験があり、効果的な事業実施が見込まれる団体のため。	今回採用した手法よりも有効なもの	現在の手法が最も有効
協働相手(パートナー)の選定は適切だったか	5	市とパートナーの間で、情報交換や意思疎通は円滑に行われたか	5
意思疎通における工夫や課題	関係資料等を用いて、適宜、連絡調整・打合せを実施した。		

市の役割	予算管理、会場確保等	パートナーの役割	運営、連絡調整
市の役割の達成度	5	パートナーの役割の達成度	5
達成できなかった理由や改善点	-		
役割分担は適切だったか	5	市民と協働したことで、市単独で行った場合と比較してよりよい成果は得られたか	5

パートナーが持つ特性(知識・経験・ネットワークなど)は十分に活かされていたか	5	事業の実施を通じて得られた成果	沼田かるた大会参加者:126名、上毛かるた大会参加者:137名
事業全体に対して十分な費用対効果は得られたか	5	費用対効果についての補足	-
協働の視点から特に工夫した点	団体との連絡調整を密にし、協力関係を構築した。	次年度以降の改善点や提案	引き続き、円滑な事業実施に努めたい。
その他	-		

パートナーの評価

事業全体に対する満足度	5	市の対応に対する満足度	5
上記の回答について、理由や感じたこと	当初の目的に沿って、適切に事業が実施できた。		

市民協働事業評価シート

事業名	No.55 沼田市二十歳を祝う会開催委託事業		
市 担当課	生涯学習課	パートナー	沼田市二十歳を祝う会実行委員会

市の評価

市の評価			
事業の目的	市全体で二十歳という人生の節目を祝福するとともに、大人の一員であることへの自覚を、より一層高めることを目的とする。		
事業計画時の目標	沼田市二十歳を祝う会を開催する	目標の達成度	5
達成できなかった理由	-		
採用した協働手法	委託	目的達成に対して適切な手法だったか	5
この手法を選んだ理由	実行委員会が主体となって事業実施することにより、効果的な事業実施が見込まれるため。	今回採用した手法よりも有効なもの	現在の手法が最も有効
協働相手(パートナー)の選定は適切だったか	5	市とパートナーの間で、情報交換や意思疎通は円滑に行われたか	5
意思疎通における工夫や課題	-		

市の役割	予算管理、会場確保	パートナーの役割	企画・運営
市の役割の達成度	5	パートナーの役割の達成度	5
達成できなかった理由や改善点	-		
役割分担は適切だったか	5	市民と協働したことで、市単独で行った場合と比較してよりよい成果は得られたか	5

パートナーが持つ特性(知識・経験・ネットワークなど)は十分に活かされていたか	5	事業の実施を通じて得られた成果	運営に対し参加者が協力的で、記念に残る式典を開催することができた。対象者:493人 出席者:402人出席率:81.5%
事業全体に対して十分な費用対効果は得られたか	5	費用対効果についての補足	-
協働の視点から特に工夫した点	-	次年度以降の改善点や提案	-
その他	-		

パートナーの評価

事業全体に対する満足度	5	市の対応に対する満足度	5
上記の回答について、理由や感じたこと	-		

市民協働事業評価シート

事業名	No.56 青少年自然体験活動推進事業		
市 担当課	生涯学習課	パートナー	沼田市青少年育成連絡協議会

市の評価

事業の目的	自然との関わりが少なくなった子どもたちが、自然に親しみ、リーダーシップを養うとともに、ふるさとを愛する心を育むことを目的とする。		
事業計画時の目標	中学生参加者18名	目標の達成度	5
達成できなかった理由	-		
採用した協働手法	委託	目的達成に対して適切な手法だったか	5
この手法を選んだ理由	青少年健全育成において、長年の実績と経験があり、効果的な事業実施が見込まれる団体のため。	今回採用した手法よりも有効なもの	現在の手法が最も有効
協働相手(パートナー)の選定は適切だったか	5	市とパートナーの間で、情報交換や意思疎通は円滑に行われたか	5
意思疎通における工夫や課題	関係資料等を用いて、適宜、連絡調整・打合せを実施した。		

市の役割	予算管理、会場確保等	パートナーの役割	運営、連絡調整
市の役割の達成度	5	パートナーの役割の達成度	5
達成できなかった理由や改善点	-		
役割分担は適切だったか	5	市民と協働したことで、市単独で行った場合と比較してよりよい成果は得られたか	5

パートナーが持つ特性(知識・経験・ネットワークなど)は十分に活かされていたか	5	事業の実施を通じて得られた成果	中学生参加者24名
事業全体に対して十分な費用対効果は得られたか	5	費用対効果についての補足	-
協働の視点から特に工夫した点	団体との連絡調整を密にし、協力関係を構築した。	次年度以降の改善点や提案	引き続き、円滑な事業実施に努めたい。
その他	-		

パートナーの評価

事業全体に対する満足度	5	市の対応に対する満足度	5
上記の回答について、理由や感じたこと	当初の目的に沿って、適切に事業が実施できた。		

市民協働事業評価シート

事業名	No.57 市民ハイキング		
市 担当課	生涯学習課	パートナー	山岳会

市の評価

事業の目的	山野に親しみ、自然保護への関心を高め、仲間づくり及び健康・体力の増進を図る。		
事業計画時の目標	参加者数 40名	目標の達成度	4
達成できなかった理由	バス代の値上がりにより負担金の金額が高くなつたため、目標の参加数に達しなかつた。		
採用した協働手法	事業協力・協定	目的達成に対して適切な手法だったか	5
この手法を選んだ理由	山の知識と安全を活かすため。	今回採用した手法よりも有効なもの	現在の手法が最も有効
協働相手(パートナー)の選定は適切だったか	5	市とパートナーの間で、情報交換や意思疎通は円滑に行われたか	5
意思疎通における工夫や課題	事業の計画から		

市の役割	バスの借り上げ、参加費の徴収、予算管理、運営	パートナーの役割	ハイキングの場所の選定、当日の運営
市の役割の達成度	5	パートナーの役割の達成度	5
達成できなかった理由や改善点	-		
役割分担は適切だったか	5	市民と協働したことで、市単独で行った場合と比較してよりよい成果は得られたか	5

パートナーが持つ特性(知識・経験・ネットワークなど)は十分に活かされていたか	4	事業の実施を通じて得られた成果	実施回数 1回、参加者数 36名
事業全体に対して十分な費用対効果は得られたか	5	費用対効果についての補足	-
協働の視点から特に工夫した点	ハイキング当日は、密に連絡を取り、情報を共有した。	次年度以降の改善点や提案	-
その他	-		

パートナーの評価

事業全体に対する満足度	5	市の対応に対する満足度	5
上記の回答について、理由や感じたこと	-		

市民協働事業評価シート

事業名	No.58 おはなしポケット		
市 担当課	生涯学習課	パートナー	沼田読み聞かせの会

市の評価

事業の目的	子どもの読書活動の推進を図る。		
事業計画時の目標	全23回開催	目標の達成度	5
達成できなかった理由	-		
採用した協働手法	事業協力・協定	目的達成に対して適切な手法だったか	5
この手法を選んだ理由	団体の専門的な知識や技術を活かすため。	今回採用した手法よりも有効なもの	現在の手法が最も有効
協働相手(パートナー)の選定は適切だったか	5	市とパートナーの間で、情報交換や意思疎通は円滑に行われたか	5
意思疎通における工夫や課題	-		

市の役割	会場確保、広報	パートナーの役割	事業の企画、運営
市の役割の達成度	5	パートナーの役割の達成度	5
達成できなかった理由や改善点	-		
役割分担は適切だったか	5	市民と協働したことで、市単独で行った場合と比較してよりよい成果は得られたか	5

パートナーが持つ特性(知識・経験・ネットワークなど)は十分に活かされていたか	5	事業の実施を通じて得られた成果	実施回数 23回 参加者 延べ384名(子ども229名、大人115名)
事業全体に対して十分な費用対効果は得られたか	3	費用対効果についての補足	-
協働の視点から特に工夫した点	図書館において団体の総会や例会が行われているため、事業の前後等でコミュニケーションを取ることができる。	次年度以降の改善点や提案	事業のPR方法などを工夫して参加者数の増加を図る。
その他	勉強会などを開催しており、とても熱心な団体である。双方の特性を発揮し、事業の発展を図りたい。		

パートナーの評価

事業全体に対する満足度	5	市の対応に対する満足度	5
上記の回答について、理由や感じたこと	おはなしポケットの始まる前の館内放送や、月ごとに決めた本の準備など、助かっています。 お話を聞いてくれる参加者も多くなり、楽しい時間になっています。		

市民協働事業評価シート

事業名	No.59 ブックスタート		
市 担当課	生涯学習課	パートナー	ブックスタートボランティア

市の評価

事業の目的	絵本を介して子どもの健やかな成長を支援する。		
事業計画時の目標	4ヵ月児健康診査を受診する親子を対象に、絵本の読み聞かせを実施し、絵本をプレゼントする。	目標の達成度	5
達成できなかった理由	-		
採用した協働手法	事業協力・協定	目的達成に対して適切な手法だったか	5
この手法を選んだ理由	市民の親しみや地域との密着性が生じる。	今回採用した手法よりも有効なもの	現在の手法が最も有効
協働相手(パートナー)の選定は適切だったか	5	市とパートナーの間で、情報交換や意思疎通は円滑に行われたか	5
意思疎通における工夫や課題	事業実施後に意見交換を行っている。		

市の役割	連絡調整	パートナーの役割	事業協力
市の役割の達成度	5	パートナーの役割の達成度	5
達成できなかった理由や改善点	-		
役割分担は適切だったか	5	市民と協働したことで、市単独で行った場合と比較してよりよい成果は得られたか	5

パートナーが持つ特性(知識・経験・ネットワークなど)は十分に活かされていたか	5	事業の実施を通じて得られた成果	実施回数 16回 修了親子数 171組
事業全体に対して十分な費用対効果は得られたか	5	費用対効果についての補足	-
協働の視点から特に工夫した点	役割分担を明確にすることで、お互いの専門性を活かせるようになり、事業の重要なパートナーであるという意識を共有できた。	次年度以降の改善点や提案	協働事業を行うには、パートナーとの定期的なコミュニケーションが不可欠である。保護者からの感想や意見を市とパートナーの間で共有し、地域に根差した細かな課題やニーズに対応できるよう、事業実施時以外での意見交換の場を創出したい。
その他	この事業では、読み聞かせや保護者とのコミュニケーション等、直接市民と触れ合う時間をパートナーに担っていただいている。絵本を読み終わった後も、積極的に保護者や赤ちゃんとコミュニケーションをとってくださる姿を見て、地域コミュニティが希薄になった現代において、子育てつながりを生む場所となっていると感じる。		

パートナーの評価

事業全体に対する満足度	5	市の対応に対する満足度	5
上記の回答について、理由や感じたこと	4ヵ月の赤ちゃんと関わりが少ないので、ブックスタートでの読み聞かせは、とても楽しいです。お話の楽しさが伝わって、親子での時間につながっていくといいなと思います。お母さんが楽しいと子どもも楽しいので、絵本を通してそういう時間が増えますように。		

市民協働事業評価シート

事業名	No.60 茶会開催業務		
市 担当課	文化財保護課	パートナー	沼田茶道会

市の評価

事業の目的	国指定重要文化財である旧生方家住宅の保存と活用の推進		
事業計画時の目標	参加者数各100名、全3回開催	目標の達成度	5
達成できなかった理由	-		
採用した協働手法	委託	目的達成に対して適切な手法だったか	5
この手法を選んだ理由	パートナーの専門性を生かし、文化財の保存・活用の推進や市民文化の向上に寄与できる。	今回採用した手法よりも有効なもの	現在の手法が最も有効
協働相手(パートナー)の選定は適切だったか	5	市とパートナーの間で、情報交換や意思疎通は円滑に行われたか	5
意思疎通における工夫や課題	全3回開催予定となっていたところ、各流派に分担していただき、4回の開催に至った。		

市の役割	予算管理、会場提供、広報	パートナーの役割	企画立案、各流派との連絡調整、茶会の開催
市の役割の達成度	5	パートナーの役割の達成度	5
達成できなかった理由や改善点	-		
役割分担は適切だったか	5	市民と協働したことで、市単独で行った場合と比較してよりよい成果は得られたか	5

パートナーが持つ特性(知識・経験・ネットワークなど)は十分に活かされていたか	5	事業の実施を通じて得られた成果	参加者数449名、全4回開催
事業全体に対して十分な費用対効果は得られたか	5	費用対効果についての補足	-
協働の視点から特に工夫した点	-	次年度以降の改善点や提案	-
その他	-		

パートナーの評価

事業全体に対する満足度	5	市の対応に対する満足度	5
上記の回答について、理由や感じたこと	-		